svarm

* 群 / 「群」は群れ・大勢・大集団・(虫などの)群生を意味し、日中でほぼ同様に「むれ／群れ」を連想しやすいため / (初出)
* kolektiv
* 团 / 「団(団体)」の簡体字で、チーム・集団・共同体を指す。「集団」「団結」などのニュアンスに近く“collective”に対応しやすい / (初出)
* amas
* 众 / 「众」は大勢の人・民衆のイメージが強いが、“大衆・大きな塊”という点で「amas(大量・大衆)」によく合う / (初出)
* amas##
* 众 / 「amas」と同義的なので同一字を再利用 / (再利用：「众」)
* grup
* 组 / 「组」は「組織する」「グループ化する」の意(例: 组织zǔzhī=組織)。"grup"=“グループ”を分かりやすく表す / (初出)
* ar
* 集 / 接尾辞「-ar」は「集団・集合」を表すため、「集(あつまる)」を充てた。日本語でも“集(集合)”のイメージがわきやすい / (初出)
* imit
* 仿 / 「仿」は「模倣する」「倣う」を意味(仿制＝模造)。日本語でも「倣(なら)う」の旧形に近く、“imit”を端的に示せる / (初出)
* analog
* 类 / 「类」は「種類」「類(似)」を意味(“類似”の簡体字=“类似”)。アナログ(類似)の語幹として単字なら「类」が最も近い / (初出)
* analogi
* 类比 / 「analogi」は「類推・アナロジー」の意が強いので、2文字で「类比」。既出の「类」と、今後比較で使う「比」を組み合わせた / (「类」再利用＋「比」初出)
* simil
* 似 / 「似」は「似る・似ている」を表し、日本語「類似(るいじ)」の「似」と同じ字形。画数も比較的少なく“similar”に近い / (初出)
* egal
* 等 / 「等」は「等しい」「同等」「平等」の意味。日本語「等しい」に通じ、“equal”に対応しやすい / (初出)
* sam
* 同 / 「同」は「同じ」を指す最も基本的な字。日本語の「同一」などとも一致し、“same”に適合 / (初出)
* ident
* 同 / 「ident」は「完全に同一の」といったニュアンス。語義が「sam(同じ)」と極めて近いため、同じ「同」を再利用 / (再利用：「同」)
* kontrast
* 对比 / 単独1文字で「対照・コントラスト」を示すのは難しいので「对比」と2文字熟語に。「对」は既に中国語で「対する」、比は「比べる」で“コントラスト”に近い / (「比」再利用)
* relativ
* 相对 / 「相对」は「相対的」「比較してみれば…」を表す慣用表現。“relativ”のニュアンスに合致 / (「对」再利用、「相」初出)
* kompar
* 比 / 「比」は「比較する」を表す代表的な漢字。“compare”をイメージしやすい / (再利用：“比”はanalogi等で既出)
* apog
* 支 / 「支」は「支える」「支援する」の意(日本語「支持」「支える」に通じる)。画数が少なく“support”に合う / (初出)
* help
* 助 / 「助」は「助ける」を直接表す最も分かりやすい字。日本語「助手」「援助」に通じ、“help” / (初出)
* asist
* 助 / 「補佐・助力」という意味合いは“help”と近く、同字で再利用することで学習コストを下げる / (再利用：「助」)
* konsent
* 同意 / 単独1文字だとやや限定的なので2文字熟語。「同意」は「同じく意を共にする」で“consent, agree”を明確に示す / (「同」再利用 + 「意」初出)
* aprob
* 可 / 「可」は「許す」「認める」「OKとする」の意味。「可決」「可能」「认可(承認)」などにも通じ、“approve”を簡潔に示せる / (初出)
* akcept
* 受 / 「受」は「受け入れる」「受領」の意。日本語も「受け取る」「受容」の字で、“accept”を表すには適切 / (初出)
* konced
* 让 / 「让」は簡体字で「譲る」「譲歩する」「認める(譲って許す)」のニュアンスがある。“concede/allow”に近い / (初出)
* taŭg
* 适 / 「适」は「適切」「適合」「合う」の意(日本語の「適当」「適切」に相当)。有用・ふさわしい意味合いが強い“taŭg”に合致 / (初出)
* konven
* 适 / 「konven」は「都合がいい・ふさわしい」など“taŭg”とほぼ類似の用法が多いため、同じ「适」を再利用 / (再利用：「适」)

1) dec

sql

Copy

dec/合/「合」は「合う」「調和する」「適する」という意味があり、「(に)かなう」「ふさわしい」のニュアンスと親和性が高いため/画数少(6画)で既出使い回し可能

2) adapt

bash

Copy

adapt/合/「合わせる」「適応させる」の意味を広義の「合」に含めて統合/dec と同じく「合」を使うことで学習コストを低減

3) konform

sql

Copy

konform/合/「(規則などに)合致する」「合乎～」の感覚を「合」で表現/すでに dec, adapt に用いている「合」を再利用

4) koincid

swift

Copy

koincid/合/「(完全に)一致する」「吻合する」「重合する」の意を、より簡略化して「合」に統合/同じ「合」系列で学習コスト削減

5) proviz

swift

Copy

proviz/供/「供給する」「提供する」「用意する」の意味に最も近い簡体字として「供」を採用/「存」との統合はやや難しいため分割

6) depon

swift

Copy

depon/存/「(を)預ける」「(を)貯める」のイメージは「存(存放/寄存)」で表現可能と判断/以下の rezerv, konserv とも統合し学習コストを減らす

7) rezerv

swift

Copy

rezerv/存/「保留・予約・取っておく」を広義で「存(保存/保留)」にまとめる/他の保存系動詞と合わせて学習負荷を軽減

8) gard

swift

Copy

gard/守/「見張る」「警戒する」「守衛する」の意を「守」で表現/以下の ŝirm, defend, protekt とまとめて「守」を流用

9) ŝirm

swift

Copy

ŝirm/守/「(を)かばう」「守る」「遮蔽する」を同じく「守」の範囲で扱う/一括して護るイメージ

10) defend

swift

Copy

defend/守/「防御する」「守る」の意味合いは「守」で十分カバー可能/統合により漢字種を増やさない

11) protekt

swift

Copy

protekt/守/「保護する」「庇護する」のニュアンスも「守」でまとめる/guard と同様の守護イメージ

12) sav

swift

Copy

sav/救/「(命などを)救う」「助ける」ニュアンスは「救」が最適/「守」では意味が離れるため別字に

13) konserv

swift

Copy

konserv/存/「(を)保存する」「維持する」「保管する」は「存」で集約/すでに depon, rezerv と同系統

14) ŝpar

swift

Copy

ŝpar/节/「(を)節約する」「倹約する」を示す場合、中国語で「节约」「节省」となるので、簡体字「节」を採用/画数5画で比較的少ない

15) dorm

swift

Copy

dorm/眠/中国語でも「睡眠」「困(= 眠い)」などに関連し、日中双方で「眠」は「眠る」イメージがわかりやすい/「睡」より画数が少しだけ少ない(※実際は同程度かやや少なめ)

16) silent

swift

Copy

silent/默/「黙る」「沈黙する」の意味を直接表す簡体字として「默」を採用/日本語の「黙」とほぼ同形で意味も近い

17) vak

swift

Copy

vak/空/「空いている」「空間的に何もない」を表すため、「空」を採用/「虚」「无」等より日本語圏での連想もしやすい

18) kuŝ

swift

Copy

kuŝ/卧/「横になる」「(ベッドなどに)横たわる」の意は中国語で「卧」に相当/画数7画と比較的少なめ

19) pend

swift

Copy

pend/吊/「掛かっている」「ぶら下がる」を、より画数の少ない「吊」で表現(「挂」も候補だが画数9)/日本語でも「吊るす」概念がわかる

20) rest## (語根ではないもの)

shell

Copy

rest##/余(暫定)/「残る」「余分がある」のイメージで「余」を流用可能/ただし非正規語根なので未対応でも可

21) rest

css

Copy

rest/余/「残り」「残存物」「余り」の意味を「余」で単純化して表現/「剩」より画数少

22) sid

swift

Copy

sid/坐/「座る」「着席する」の基本漢字として「坐」を採用/中国語でも日常的に「坐下(= 座る)」と用いられる

23) star

swift

Copy

star/立/「立っている」「起立する」を端的に表す漢字として「立」を用いる/日中ともに認識しやすい

24) signif

r

Copy

signif/意/「(を)意味する」「示す」「含意する」を表すため「意」を選択/画数はやや多いが、日中で「意味」「意図」の直感度が高い

25) senc

r

Copy

senc/意/「意味」「感覚」「ニュアンス」を「意」に集約/「signif」と同一字で学習コストを下げる

1. intenc / 意 /
   * 選定理由: 「意」は「意図」「意味」「意思」などを連想しやすく、「意図する」「意志」などのニュアンスを広くカバーできる。
   * 学習コスト: 既に漢字文化圏の人にとって馴染み深い字であり、覚えやすい。
2. cel / 目 /
   * 選定理由: 「目」は「目的」「目标」の主要部分であり、「目指す」という日本語ともつながる。ゴール・ターゲットのイメージが比較的伝わりやすい。
   * 学習コスト: 一文字で画数も少なく、日中ともに基礎的な字。
3. tendenc / 向 /
   * 選定理由: 「倾向」「方向」などに含まれ、物事がある方向に傾くイメージ。「傾向」との直結イメージが強い「倾」もあるが、画数が少なく広義な「向」を採用。
   * 学習コスト: 「向」は日本語の「方向」「向かう」などとも共通し、覚えやすい。
4. inklin / 向 /
   * 選定理由: 「～に傾く」「～に向かう」など、内面的な“傾き”や“素質”を表す際にも「向」でまとめられる。
   * 学習コスト: 上と同じく既出の「向」を使うことで追加コストを削減。
5. em / 向 /
   * 選定理由: エスペラントの接尾辞「-em-」は「～しがち」「～する傾向」を表すため、同じく“方向性”を暗示する「向」で統一。
   * 学習コスト: すでに採用済みの「向」に一括集約。
6. pozitiv / 正 /
   * 選定理由: 「正」は「正面」「正しい」「正当」など、肯定的・積極的・プラスのイメージを幅広く表せる。中国語において“积极”が定訳だが、単字で表すなら「正」が汎用的かつ画数も少ない。
   * 学習コスト: 日本語の「正」と同形で馴染みがある。
7. objektiv / 客观 /
   * 選定理由: 中国語で「客观」は「客観的」を意味する最も標準的な表現。1文字では表しづらいので2文字熟語を採用。
   * 学習コスト: 「客」「观」いずれも初出だが、いずれも日常語に含まれやすい。
8. subjektiv / 主观 /
   * 選定理由: 「主观」は「主観的」の意味で中国語の常用表現。「主」は“主体・主張”などで主観、「观」は“見方・見解”のニュアンス。
   * 学習コスト: 「观」は上記(7)と共通、1文字増えるのは「主」のみ。
9. grav / 重 /
   * 選定理由: 「重要」「重大」「重視」など、「重」には“重要だ”“深刻だ”という意味合いが強く含まれる。
   * 学習コスト: 日中とも頻出漢字。
10. precip## / 尤 /

* 選定理由: 「尤其(尤为)～」の形で“とりわけ”“特に”の意。「尤」は単体で「格別に」「特に」という使われ方はやや古風だが、画数が少なく「特別に主要な」というニュアンスを指示できる。
* 学習コスト: ややマイナーな字だが画数が少ない。今後「尤其」の熟語を使う場合も考慮。

1. precip / 尤 /

* 選定理由: 上に同じ。まとめて「とりわけの」「主要な」ニュアンスを「尤」でカバーし、重複を活かす。
* 学習コスト: 同字再利用でコスト削減。

1. koncentr / 集 /

* 選定理由: 「集中」「集合」「集結」などに含まれ、“集める”・“集中する”を広くカバー。「集中」の前半を単字で当てる形。
* 学習コスト: 基本的に「集」で“集まる・集める・まとめる”というイメージが連想しやすい。

1. centraliz / 集中 /

* 選定理由: 「中央に集める」という意味合いで、中国語の「集中」はまさに「中央へ集約する・集中させる」の標準表現。
* 学習コスト: 「集」「中」はどちらも既出(12と14/15参照)のため、新規文字なし。

1. mez / 中 /

* 選定理由: “真ん中”は中国語でも「中」そのもの。非常に基本的な字。
* 学習コスト: ごく初歩的な字であり、馴染みがある。

1. centr / 中 /

* 選定理由: 「中心」のイメージを単字に集約した。「mez」と意味上は近いため同じ「中」を使い、学習コストを削減。
* 学習コスト: 既に(14)で利用しているため重複利用。

1. ad## / 续 /

* 選定理由: エスペラントの接尾辞「-ad-」は「動作の継続・反復」を示すため、「继续」「持续」などに含まれる「续」を割り当てて継続を表現。
* 学習コスト: やや画数はあるが、「继续」「连续」などで馴染みやすい。

1. ad / 续 /

* 選定理由: 上記(16)と同根で、継続や反復を示すため同じ「续」を再利用。
* 学習コスト: 重複利用によりコスト削減。

1. kontinu / 续 /

* 選定理由: 「连续」「持续」など、「続く」という概念に「续」を使用。
* 学習コスト: (16)(17)と同じ字で一元化。

1. daŭr / 续 /

* 選定理由: 「継続・持続」全般を表すために同様に「续」。
* 学習コスト: 上と同じく重複利用。

1. solidar / 团 /

* 選定理由: 「团结(団結)」「团队(団体)」などの「团」は“集団・結束・まとまり”を表す字で、連帯(共同)のイメージに近い。
* 学習コスト: 画数も6画と比較的少なく、日本語の「団」に相当。

1. korelativ / 关 /

* 選定理由: 中国語の「相关(相関)」「关联(関連)」など“関係・関連性”を表す語に含まれる「关」を使用。
* 学習コスト: 「関連・相関」の“関”に相当する字として、簡体字の「关」を一括利用。

1. rilat / 关 /

* 選定理由: 「关系(関係)」のコアとなる字として「关」を再利用し、“関係する”の意をカバー。
* 学習コスト: (21)で使用済みの「关」と同じ。

1. koncern / 关 /

* 選定理由: 「関係する」「関与する」「気にかける」などを示す意味で「关」が含まれる「关心」「相关」などに通じる。
* 学習コスト: 既出の「关」を再利用。

1. de/pend## / 依 /

* 選定理由: 「依赖(依存)」「依靠(頼る)」などに使われる「依」で、“～に頼る”“～に依存する”の意を表す。
* 学習コスト: 漢字文化圏で「依存」「依頼」などに共通し、理解しやすい。

1. laŭ / 依 /

* 選定理由: 「依照(～に従う、～によれば)」「依据(～に基づく)」など、“～に沿って”“～に従って”を表す意味で「依」を使い回す。
* 学習コスト: (24)と同じ字でまとめることで追加負荷を減らす。

sekv / 从 /

* + 選定理由: 「follow, 従う」に近い意味で、簡体字「从」は「従(日本語)」の簡体字にあたる。画数が4画と少なく、非常にシンプル。
  + 学習コスト: 単純な構成で、日本語話者には旧字体「從」からの類推が可能。

1. ĉi## / 这 /
   * 選定理由: 「ここ・この(近接)」のニュアンスに対応させやすい。「这」は「這(日本語の“これ”など)」の簡体字。
   * 学習コスト: 日本語話者も「這」の簡体字だと推測可能。
2. proksim/um## (およその, approximate) / 约 /
   * 選定理由: 「約(およそ)」を意味する簡体字。「大约(約…)」「约莫」など、数値の“およそ”を表す語として頻用。
   * 学習コスト: 「約」の簡体形なので、日本語話者にも比較的類推しやすい。
3. preskaŭ / 几乎 /
   * 選定理由: 「ほとんど」「ほぼ…」の標準的な言い回しが「几乎」。一文字では現代中国語で「ほとんど」を表す適切な字が少ないため2文字熟語に。
   * 学習コスト: 「几」(いくつ？)＋「乎」(古風な語尾)という組み合わせだが、どちらも比較的画数は少なめ。
4. najbar / 邻 /
   * 選定理由: 「邻(鄰)」は「隣」「隣人」の意。日本語「隣」と同語源。簡体での画数は7画。
   * 学習コスト: 日本語の「隣(鄰)」の簡体形であると推測可能。
5. proksim / 近 /
   * 選定理由: 「近い」意味として最も直接的な簡体字。
   * 学習コスト: 日本語の「近」と同形(簡体字でも同じ)。
6. apud / 旁 /
   * 選定理由: 「(の)そばに」「かたわらに」に相当しやすい漢字。「旁」は「かたわら」「そば」を表す。
   * 学習コスト: 日本語ではややマイナーだが、「傍」「旁」などの形から連想可能。
7. perimetr / 周 /
   * 選定理由: 本来は「周长」が「周囲・周長(ちゅうちょう)＝perimeter」だが、できるだけ単字に抑えるため「周」を割り当て。
   * 学習コスト: 「周」は「週」や「周囲」の語として日本語にも馴染みがある。
8. ĉirkaŭ / 周 /
   * 選定理由: 「まわり」「周囲」「およそ」のニュアンス。同じ「周」を再利用することで偏旁数を削減。
   * 学習コスト: 上記(8番)と同じ字を使い回すことで覚える負担を軽減。
9. ĉirkaŭ## / 周 /

* 選定理由: (9)と同根と思われるため同じ割当。「周」で「まわり」「約」などのニュアンスをカバー。
* 学習コスト: 同上。

1. bord / 岸 /

* 選定理由: 「岸」「水辺の陸地面」を表す明確な字として「岸」を採用。
* 学習コスト: 日本語と同形(「岸」)なので把握しやすい。

1. rand / 边 /

* 選定理由: 「辺(へり)」「縁(ふち)」「境界(へり)」などを表すのに適切。簡体字「边」は日本語の「辺」の簡体形。
* 学習コスト: 画数が少なく、また日本語の「辺」を知っていれば理解しやすい。

1. flank / 侧 /

* 選定理由: 「側(そば)」「横面」「側面」を表す簡体字。「側」の簡体形が「侧」。
* 学習コスト: 日本語「側」の簡体形と知れば連想しやすい。

1. later / 边 /

* 選定理由: 幾何学的に「辺」を表す場合に「边」が直感的。すでに12番「rand」で用いた字を流用し、使い回しで偏旁数を削減。
* 学習コスト: 「rand」と同じ「边」で統一。

1. apoge / 远地点 /

* 選定理由: 天文学で「遠地点(アポジー)」は中国語で「远地点」が一般的。1文字化は難しいため3文字熟語に。
* 学習コスト: 「远(遠)」「地」「点」の組み合わせはそれぞれ日本語とも対応しやすい。

1. for / 远 /

* 選定理由: 「遠い」「離れている」を表す簡体字。
* 学習コスト: 日本語「遠」の簡体形とすぐ分かる。

1. distanc / 距 /

* 選定理由: 「距離」を表す単字として一般的。「距离(距離)」におけるメイン要素の字。
* 学習コスト: 単字「距」はやや画数多め(11画)だが、「距离」と比べれば1文字で済む。

1. medit / 冥想 /

* 選定理由: 「黙考する」「瞑想する」を表す日常的な中国語表現が「冥想」。単字で瞑想を直接示す文字はあまり無い。
* 学習コスト: 2文字合計で19画ほどだが、意味が明確なので採用。

1. konsider / 考虑 /

* 選定理由: 「考慮する」をそのまま表す熟語が「考虑」。現代中国語で一般的。
* 学習コスト: 「考」(日本語でも“考える”の字)＋「虑」(日本語の旧字体「慮」の簡体形)。

1. pens / 思 /

* 選定理由: 「思う」「考える」という最も汎用的な1文字として「思」を割り当て。
* 学習コスト: 日本語圏でも馴染み深く、1文字で済むので簡便。

1. opini / 认为 /

* 選定理由: 「(～と)思う・意見を持つ」を表す常用表現。「认为」は「～と考える、～と思う」という意味で非常に一般的。
* 学習コスト: 2文字合わせても画数が少ない(认4画＋为4画＝計8画)。

1. konklud / 结论 /

* 選定理由: 「結論」「結論を出す」に相当する熟語が「结论」。現代中国語で標準的な表現。
* 学習コスト: 「结」は日本語の「結」の簡体形、「论」は「論」の簡体形。

1. rezon / 推理 /

* 選定理由: 「推論する」「推理する」を表す標準的な2文字熟語。単字で「論理的思考・推論」を示す表現は乏しいため。
* 学習コスト: 2文字だが日常的表現であり、意味がはっきり伝わる。

1. diven / 猜 /

* 選定理由: 「当てる・推測する・見抜く(guess)」に近い動詞単字として「猜」がある(「猜测」「猜想」などの基本)。
* 学習コスト: 画数は10画だが、一文字で「推測する」の意を伝えやすい。

1. supoz / 假设 /

* 選定理由: 「仮定する」「想定する」「(～と)想像する」に該当しやすい熟語が「假设」。現代中国語でも「假设条件」など頻用。
* 学習コスト: 「假」は「仮」「假」の簡体形、「设」は「設」の簡体形。

konjekt / 推 / 「推」には「推測・推断」の意味があり、「(を)推測する」のニュアンスに近い / 新たな部首「扌」(手偏)の導入。画数はやや多め(11画)だが、日本語の「推測」や中国語の「推测」と対応しやすい。

1. raci / 理 / 「理」には「道理」「理性」などの意味があり、「理性」「合理的」を想起しやすい / 初出の部首「王」と「里」の組合せだが、日中ともに「理性」「道理」で親しみがある。
2. teori / 论 / 簡体字「论」は「讨论」「理论」などに含まれ、「理論・論じる」の意味に相当 / 偏旁「讠(言偏)」＋「仑」の組合せ。画数は6画と比較的少ない。日本語の「論(ろん)」の簡体字形であることから意味も推測しやすい。
3. logik / 理 / 日中で「論理」「逻辑(邏輯)」の一部として用いられ、「道理」「筋道」としての“ロジック”を連想できる / すでに raci で使用している「理」を使い回し、学習コストを抑える。
4. ide / 意 / 「意」は「意見・意味・意図」などの意味を含み、「観念・イデア」にも近い / 偏旁は「立」「日」「心」などから成るが、日中ともに“思い・考え”を表す字として馴染みがある。
5. koncept / 念 / 「念」は「思考」「念頭」「想念」などの語に通じ、「概念」を連想しやすい一字 / 画数8画と比較的少なめ。日本語圏でも「念」の字が「考え」「気持ち」のイメージで通じやすい。
6. premis / 前提 / 中国語でも「前提」と書き、「物事の成立や論理の成立に先立つ条件」を意味 / 2文字熟語だが「premise」を最も直接的に表す。初出漢字は「前(9画)」「提(12画)」。
7. hipotez / 假 / 「假」は「假设(仮設)」などで“仮・仮定”を表し、「(を)仮説する」の含意に近い / 簡体字と繁体字で同形。日本語「仮(かり)」に近い概念として連想しやすい。
8. deĉifr / 解 / 「解」は「解読」「理解」「解析」など広く「ほどく・理解する・解明する」を表す / 13画とやや多めだが、日中共通で「解読」の意味に直結しやすい。
9. analiz / 析 / 「分析」「解析」などで用いられ、「(を)分析する」の意味を端的に示す / 部首は「木＋斤」。日本語でも「分析」「解析」の一部として認知度が高い。
10. kritik / 批 / 「批判」「批评」などで“批判する・批評する”を示す / 偏旁は「扌(手)＋比」。すでに「推」で手偏は出ているが、ここでの「批」は「批判」や「批評」に対応。
11. recenz / 评 / 「评论」「评介」などで“批評・レビュー”を表す簡体字 / 日本語の「評(ひょう)」の簡体形。画数6画と比較的少なめ。批評・評論を想起しやすい。
12. enket / 查 / 「调查(調査)」「查问(尋ね調べる)」など、“(を)調査する”に相当 / 偏旁は「木＋曰」。日中両方で「調べる」「探す」のイメージが伝わりやすい。
13. ekzamen / 检 / 「检查」「检验」などで“(を)調べる・検査する・検討する”を表す簡体字 / 日本語の「検」の簡体字形。画数9画。
14. kontrol / 检 / 「检查」「检验」など、“(を)検査する・点検する・チェックする”へ転用可能 / すでに ekzamen で使った「检」を再利用し、学習コストを削減。
15. cenzur / 审 / 「审查」などで“(を)審査・検閲する”を表す簡体字 / 日本語の「審」の簡体字形。画数8画。
16. revizi / 校 / 「校对(校訂)」「校阅(校閲)」など、“(を)校閲・見直す”を表す / 偏旁は「木＋交」。日中ともに「校正」「校閲」のイメージが強く、意味を把握しやすい。
17. inspekt / 检 / 「检查」「检阅」「检视」などで“(を)視察する・検分する”の意味 / ekzamen・kontrol と同じ「检」をさらに再利用。
18. malgraŭ / 虽 / 簡体字「虽」は「虽然(…にもかかわらず)」「虽说(とはいえ)」などで“逆接”を表す / 日本語ではあまり単独使用しないが、中国語で「たとえ…でも」「…にもかかわらず」を示す字として機能する。
19. spit / 抗 / 「抗争」「反抗」「抗拒」などで“(を)ものともしない、逆らう”に近い / 偏旁は「扌(手)＋亢」。日本語の「抗」(抵抗・反抗)と共通性がある。
20. forges / 忘 / 「忘记(忘れる)」「健忘(物忘れ)」などで“(を)忘れる”を表す / 日中で字形・意味ともに共通。画数7画。
21. ignor / 忽 / 「忽视(無視する)」「疏忽(うっかりする)」などで“(を)無視する”に近い意味 / 偏旁は「忄(心)＋勿」との関係が深い字形だが、日常用語の「忽略」で“軽視・見落とす”の意がある。
22. neglekt / 忽 / 「疏忽(疎忽)」「忽视(無視)」は“(を)なおざりにする・いい加減に扱う”に近い / ignor と同じく「忽」を再利用して学習コストを抑える。
23. rifuz / 拒 / 「拒绝(拒絶する)」「抗拒(抵抗・拒否)」など“(を)拒絶する”を表す / 偏旁は「扌(手)＋巨」。日中とも「拒否」「拒絶」を直感しやすい。
24. kontest / 争 / 「争论(論争)」「争执(言い争い)」「竞争(競争)」などで“(に)異議を唱える・争う”の意味を含む / 画数6画と比較的少なく、「異議・争い」の連想がしやすい。

refut / 反驳 /

* 選定理由: 「反驳」(fǎnbó) は「反論する・論破する」の意味で、中国語圏でもっとも一般的。単字「驳」だけでも「反駁する」意があるが、やや分かりづらいため2文字にした。
* 学習コスト: 「反」は今後「反射」などでも再利用できる常用字で画数も少ない(4画)。日本語圏でも「反論」「反対」で馴染みがある。
* hezit / 迟疑 /
* 選定理由: 「迟疑」(chíyí) は「ためらう、躊躇する」の意味で、中国語として自然な表現。
* 学習コスト: 「疑」は後述の“dub”“suspekt”などでも再利用。「迟」は「遅い(迟到)」で日本語話者もなんとなく連想しやすい。
* rezignaci / 弃 /
* 選定理由: 「弃」(qì) は「放棄する」「あきらめる」の意味の簡体字(繁体は「棄」)。あきらめのニュアンスに近い。
* 学習コスト: 画数は7画(繁体「棄」より少ない)。日本語の「棄権」「放棄」と対応し連想しやすい。
* atend / 等 /
* 選定理由: 「等」(děng) は「待つ」(等待)の意味を端的に表し、日常的によく使う。
* 学習コスト: 漢字圏では非常に基本的な字であり、学習負担が小さい。
* aŭgur / 占 /
* 選定理由: 「占」(zhān) はもともと「占う(占卜)」の意味を持ち、古くから「卜(ぼく)」と並んで「うらなう」を表す常用字。
* 学習コスト: 画数もわずか5画と少なく、かつ日本語でも「占い」「占星術」でなじみがある。
* prognoz / 预 /
* 選定理由: 「预」(yù) は「予測・予報・予見」の「預/予(あらかじめ)」系統(繁体:「預」)の簡体字。「予想」「予報」「預言」などにも関連。
* 学習コスト: 日本語の「予」(簡体での「预」と若干形が異なる)と近く、概ね意味を連想しやすい。
* dub / 疑 /
* 選定理由: 「疑」(yí) は「疑う」「疑念」「疑問」の基本漢字。
* 学習コスト: 下記suspektなどとまとめて同一字を割り当てれば、学習コストの削減にもなる。
* suspekt / 疑 /
* 選定理由: 「怪しむ」「疑う」を中国語では「怀疑」「猜疑」などと表し、共通する核心要素は「疑」。
* 学習コスト: dubと同じ「疑」を再利用。振り仮名等で区別可能。
* kred / 信 /
* 選定理由: 「信」(xìn) は「信じる」「信用する」の基本語。「通信」「信仰」「相信」など幅広い語彙で用いる。
* 学習コスト: 極めて日常的で、日本語話者にも意味をイメージしやすい。
* fid / 信 /
* 選定理由: 「信頼する」「信用する」のニュアンス。「信」を重複利用し、学習負担を抑える。
* 学習コスト: 同上(再利用)。
* konfid / 信 /
* 選定理由: 「打ち明ける」「信じて任せる」も「信」で表現可能(「信任」「信托」など)。
* 学習コスト: kred・fidと同じく再利用。
* bis / 再 /
* 選定理由: 演奏会での「アンコール(もう一度)」→「再び」を示す代表字として「再」。
* 学習コスト: 後述のripet・reとも共通化できる。
* ripet / 再 /
* 選定理由: 「繰り返す」は中国語で「重复」「再来」など。「再」を用いれば「再度」「再次」にも近くわかりやすい。
* 学習コスト: bis・reと同字再利用。
* foj / 次 /
* 選定理由: 何回、何度、という時の「回数」は中国語で「次」(cì)。日本語でも「回数」「◯回目」を表す補助的用法があり、連想しやすい。
* 学習コスト: 画数もやや少なめ(6画)で基本語。
* re / 再 /
* 選定理由: エスペラントの接頭辞「re-」(再び)に相当する表意として「再」。
* 学習コスト: bis・ripetと同じ字を共有化して重複割当。
* ili / 他们 /
* 選定理由: 現代中国語で「彼ら」を一番素直に表すのは「他们」(tāmen)。性別を区別しない複数にも多用される。
* 学習コスト: 単独の1文字で「彼ら」を表す字は存在しないため2文字割当。
* si / 自 /
* 選定理由: エスペラントの第三人称再帰代名詞を漢字で単純に示すなら「自」(zì)。「自己」「自分」のイメージ。
* 学習コスト: 画数も6画と比較的少なめで、日本語の「自分」と同源。
* anstataŭ / 代 /
* 選定理由: 「代(替)わりに」の中心意。「代替」「代表」「代理」などの語に共通するコア字。
* 学習コスト: 5画で簡明。日本語での「代わり」「時代」などからも連想しやすい。
* anstataŭ## / 代 /
* 選定理由: 同じ意味を扱うため、上記と同字を割り当て。
* 学習コスト: 再利用。
* alternativ / 选 /
* 選定理由: 「選択肢・オプション」というニュアンスを中国語では「选择」(xuǎnzé)などと表現。単字なら「选」が最も直感的。
* 学習コスト: 画数はやや少なめ(6～7画)。日本語「選ぶ」の旧字体「選」とも近く、意味連想は容易。
* reciprok / 互 /
* 選定理由: 「相互」「お互い」は中国語でも「互相」。「互」(hù)自体が「相互」を表す。
* 学習コスト: 4画と少なく、かつ「互助」「互換」で日中ともにイメージしやすい。
* altern / 交 /
* 選定理由: 「交替」「交互」「交流」など「交」は「かわるがわる」「交換する」の意味を持つ。
* 学習コスト: 6画で「交渉」「外交」など日本語にも近い。
* respond / 答 /
* 選定理由: 「回答」「答复」の中心字「答」。質問に応じる意を端的に表す。
* 学習コスト: やや画数(12)は多いが、日本語の「答案」「応答」などと同源。十分連想可能。
* reflekt / 反射 /
* 選定理由: 光や音の物理的反射は中国語で「反射」(fǎnshè)と表現するのが標準。単字では表しづらいため2文字を採用。
* 学習コスト: 「反」は上記(refutなど)で既出、「射」は新規だが日中ともに基本的。「発射」「放射」で日本語圏にも馴染みがある。
* eĥ / 回声 /
* 選定理由: 「回声」(huíshēng) は「エコー」「反響」「こだま」を意味する一般的表現。
* 学習コスト: 「回」は6画、「声」は7画。「声」は日本語の「声」と同形で意味も同じ。

reakci / 反应 /  
　理由：現代中国語で「反応」「反作用」「応答」を表す標準的な語。「reaction/reactionary/反動」のニュアンスをカバーしやすい。  
　既出・学習コスト：新規使用の「反」「应」。日本語話者にも「反応（はんのう）」を連想しやすい。

1. efik / 效 /  
   　理由：「効果・効力・効き目」を示す漢字（日本語の「効」に相当）。単字で「効果がある」「有効」というニュアンスを表せる。  
   　既出・学習コスト：新規使用。比較的画数は多くない方。
2. influ / 影响 /  
   　理由：現代中国語で「影響」を表す最も一般的な2文字熟語。  
   　既出・学習コスト：新規使用の「影」「响」。日本語「影響（えいきょう）」とも対応が取りやすい。
3. konsekvenc / 结果 /  
   　理由：現代中国語で「結果・帰結」を表す基本的な語。論理的帰結・最終的な成り行きを含意できる。  
   　既出・学習コスト：新規使用の「结」「果」だが、後続の「rezult」「rezultat」と共有可能。
4. rezult / 结果 /  
   　理由：「結果」を示す最も基本的な現代中国語表現。  
   　既出・学習コスト：「结」「果」は(4)と同じ。
5. rezultat / 结果 /  
   　理由：「結果」「成り行き」「成果」のニュアンスを広くカバーできる。  
   　既出・学習コスト：「结」「果」は(4)と同じ。
6. renkont / 会 /  
   　理由：日本語で「会う」、中国語で「会面(する)」というイメージ。厳密には中国語では “can/will” の意味もあるが、「出会い」のニュアンスを単字で示す際に比較的わかりやすい。  
   　既出・学習コスト：新規使用。画数は少なめ。
7. tuŝ / 触 /  
   　理由：日中ともに「触れる」「触る」を想起できる漢字。  
   　既出・学習コスト：新規使用。シンプルで意味が取りやすい。
8. kontakt / 接触 /  
   　理由：「接触」という現代中国語のごく一般的な表現。日本語の「接触」にも対応。  
   　既出・学習コスト：「接」は新規、「触」は(8)tuŝと同字。
9. traf / 中 /  
   　理由：中国語では「命中する・当たる」の意味が「中(zhòng)」に含まれる（例：命中、击中、中奖）。短く画数も少ない。  
   　既出・学習コスト：新規使用。
10. palp / 摸 /  
    　理由：手探りで「触れる」「撫でる」「探る」といったニュアンスは中国語で「摸(mō)」。  
    　既出・学習コスト：新規使用（やや画数多めだが意味が直観的）。
11. atak / 攻 /  
    　理由：日中とも「攻める」「攻撃する」を表す漢字。単字でも「攻撃」のニュアンスを示せる。  
    　既出・学習コスト：新規使用。
12. invad / 侵 /  
    　理由：「侵入」「侵略」など「侵」の含意が強く、単字でも「他国へ侵入する」イメージが伝わりやすい。  
    　既出・学習コスト：新規使用。
13. penetr / 穿 /  
    　理由：「貫通する」「穿つ」「突き抜ける」の意味を持つ漢字。中国語でも「穿透(chuān tòu)」は「penetrate」。  
    　既出・学習コスト：新規使用。
14. infekt / 染 /  
    　理由：本来「染める」の意味だが、中国語で「感染(传染)する」との関連が強い。単字で「伝染・感染」を連想しやすい。  
    　既出・学習コスト：新規使用。
15. gajn / 得 /  
    　理由：「得る」「獲得する」「勝ち取る」のニュアンスを広く持ち、日中両方で理解しやすい。  
    　既出・学習コスト：新規使用(後続の akir と共有予定)。
16. venk / 胜 /  
    　理由：中国語の「胜利(勝利)」「战胜(戦勝する)」の「胜」。日本語の「勝」と同源。  
    　既出・学習コスト：新規使用。
17. konker / 克 /  
    　理由：「克服」「征服」「乗り越える」のニュアンスを担う漢字。中国語で「攻克」は「攻略・征服」を意味。  
    　既出・学習コスト：新規使用。
18. aĉet / 买 /  
    　理由：簡体字「买(mǎi)」は「買う」の意。日本語の「買」に相当。  
    　既出・学習コスト：新規使用。画数も少なめ。
19. ricev / 收 /  
    　理由：中国語で「收(受け取る、受領する、収める)」。例：收钱(お金を受け取る)。  
    　既出・学習コスト：新規使用。比較的画数少なめ。
20. akir / 得 /  
    　理由：「獲得する」「手に入れる」。すでに gajn(16) に割り当てた「得」と同じ漢字を転用し、学習コストを低減。  
    　既出・学習コスト：「得」は(16)と同字。
21. kapt / 捕 /  
    　理由：「捕まえる」「捕獲する」を意味。日中で「捕捉」「逮捕」などに使われる。  
    　既出・学習コスト：新規使用(後続の arest と共有予定)。
22. arest / 捕 /  
    　理由：「逮捕」「拘束」のニュアンス。既に kapt(22) で用いた「捕」と共用して差異は上付きや注釈で区別可能。  
    　既出・学習コスト：「捕」は(22)と同字。
23. ten / 持 /  
    　理由：「持つ」「保ち支える」を表し、日本語「保持」にも通じる。  
    　既出・学習コスト：新規使用。
24. pren / 取 /  
    　理由：「取る」「手に取る」「選び取る」の意味で、日中ともに把握しやすい。  
    　既出・学習コスト：新規使用。

konfisk/没/「没収(没收)」の核心字として/他の氵偏(さんずい)字と組み合わせる余地あり

* + 没は中国語では「没收(=没収)」の略にも使われ、日本語の「没収」とも結び付きやすい。

1. uzurp/夺/「夺(奪)」は“力ずくで奪う”ニュアンス/日本語“奪”と同源で比較的連想しやすい
   * 篡(サン)だと画数が多く、日本語で馴染みが薄いため、より簡潔な夺を選択。
2. akapar/囤/「囤積(=買い溜め)」の核心字/日本語では馴染み薄だが意味を推測しやすい
   * 買い占め・買い溜めのニュアンスを出すには、囤(蓄える)が比較的わかりやすい。
3. korupt/贿/「贿赂」の“贿”/日本語の“賂”に近く、賂行(ろこう)のイメージ
   * 中国語では“贿赂(賂)”が“賄賂”に当たり、簡体字としては贿がコア。
4. kon/认/「认识(認識)」から“认”を抽出/日本語“認”と共通点があり、個人的な知り合いの意味を表しやすい
   * “sci”との差別化(事実知識=知)のため、konは“认”で“認識(人を知る)”的なニュアンス。
5. sci/知/「知る」の基本字/日中両言語で“知”は馴染み深い
   * 事実や情報を「知っている」ニュアンスに合致。
6. kompren/解/「理解(了解)」のコア字/日中いずれも「解る」「理解」でわかりやすい
   * “懂”も検討可だが、画数や日中の通用度を考慮して“解”を採用。
7. rimark/觉/「觉察(覚察)」の“觉”/“気づく・感づく”に近い
   * 日中で「覚」が“感じる・気づく”の意味を持ち、画数も比較的少なめ(9画)。
8. konsci/悟/「悟る(觉悟)」など“意識・自覚”を示す字/“rimark(觉)”との差別化
   * 日中で“悟”は「意識してわかる・悟る」のイメージが強い。
9. invent/发明/「発明」の簡体字/一文字で“発明”を表すのは困難なため2文字熟語
   * 日中ともに“発明”でほぼ同じ認識を持つが、簡体は“发明”。
10. trov/找/「找到」の“找”/中国語で「見つける」は“找到・发现”などが定着しており、単字なら“找”が近い
    * 日本語では“找”は馴染み薄だが「探す」と「見つける」が混ざった運用も可。
11. serĉ/寻/「寻找」の“寻”/“探す・捜す”の意味/日本語の“尋”に相当
    * “找”が「見つける」に寄るため、“寻”を「捜す(サーチ)」に。
12. esplor/探/「探究・探索」の“探”/日中とも「探す・探る・探索」感が共有しやすい
    * 研究(研/究)も候補だが「探」の方が「実地探索」のイメージに近い。
13. aviz/告/「告知・通知」の“告”/“報”とも迷うが“告”の方が“知らせる”ニュアンスが強い
    * 日本語も“告知”という形で馴染みがある。
14. avert/警/「警告(警戒)」の“警”/警報・警戒など“warn”系に合致
    * 日中いずれも直感的に“注意喚起”を連想。
15. alarm/警/同じ“警”を使い回し/警报(警報)の核心字として再利用
    * 同じ字を流用し、上付きや文脈で区別可能。
16. manifest/宣/「宣言」の“宣”/“声明・布告”などのニュアンス
    * 次のdeklaraci, proklam, deklar等とまとめて“宣”で統一可能。
17. deklaraci/宣/“公式に宣言する”イメージ/上と同じく“宣”
    * “宣告・宣布”などで使われるコア字。
18. proklam/宣/“布告・宣告”に通じる/宣言系は全て同じ字に集約
    * 同義・近義のため学習コスト低減に貢献。
19. anonc/告/“公告・告示”など公表ニュアンス/“aviz(告)”と同字で再利用
    * “発表”系を“宣”と“告”で使い分け。「告」は“知らせる”側面重視。
20. deklar/宣/“宣言・宣明”のニュアンス/同じ“宣”で一括
    * deklaraciとの語義の近さを考慮。
21. afiŝ/海报/「ポスター」の一般的中国語/一文字では適訳しにくいため2文字
    * “贴”だと「貼る」動作に寄りすぎる。標準用語“海报”で確実に通じる。
22. reklam/广告/「広告」/一文字訳不可のため2文字表記
    * 日本語“広告”の簡体表記。両言語で対応語が近くわかりやすい。
23. propagand/宣传/「宣伝」の中国語標準形/“宣”は既出、組み合わせる“传”も比較的画数少
    * 日中とも“宣传(宣伝)”でイメージが一致しやすい。
24. komunik/通/「通じる・通信・疎通」など/日中で“交通・通信”の“通”として広く認識
    * 一文字で「伝達・交流」ニュアンスを担保。

inform / 告 / 「告」は「知らせる」「告げる」という意味で中国語・日本語双方に馴染みがあるため / 画数は7画で比較的少なめ。他の「報(报)」とも意味を分けやすい

1. raport / 报 / 中国語で「報告」を意味する常用字の簡体字。日本語「報」でも馴染みあり / 「inform=告」と使い分けることで混同を防ぐ。今後「会报」「急报」などにも再利用
2. bulten / 会报 / 「会報」(定期会報)に相当し、中国語でも「会报」は使われる / 「会」と「报」はどちらも画数少なめで既出漢字(「报」は上記2番と同じ)
3. depeŝ / 急报 / 「急」は「急報・緊急」の意味を表し、「报」は「報告」 / 「报」は既出で再利用。2文字だが分かりやすく簡潔
4. peĉ / 沥青 / ピッチ(瀝青)を意味する中国語の一般的表現。日本語「瀝青」と対応 / 単字で“ピッチ”を表す字はないため2文字熟語を採用
5. punkt / 点 / 「点」は「小さな点・ポイント」を意味し、中国語・日本語双方で通じる / 画数も少なく他で流用可能
6. poent / 分 / 得点・スコアを示すときに「几分」「得分」などで使われ、中国語・日本語双方で「ポイント」に近い / 画数がわずか4画で学習コスト低
7. not / 记 / メモ・覚え書きをイメージする「記(记)」。中国語で「笔记」=ノート / 「注」でも近い意味だが、後述の“注釈”系と区別するため「记」を割当
8. komentari / 评 / 「評(评论)」に相当し、コメント・評するニュアンス / 「koment(注)」との差別化のため別の常用簡体字「评」を使用
9. koment / 注 / 注釈・コメントを意味する常用字。「注释」「注解」など / 画数8画で比較的少なく、日本語「注釈」とも対応しやすい
10. fokus / 焦点 / 中国語・日本語ともに「焦点」が“フォーカス”を意味する定番表現 / 「点」はすでに(6)で登場済み
11. akcent / 重音 / アクセント(重音)を表し、中国語・日本語両方に通じる / 2文字だが分かりやすい熟語
12. emfaz / 强调 / 「強調」を意味する中国語の一般的な表現(簡体字)。日本語「強調」とも対応 / 2文字熟語だが意味が明確
13. ŝajn / 似 / 「～のように見える」を表す字。中国語で「似乎」、日本語でも「似る」の語幹 / 単字ではやや抽象的だが最も画数が少なく使いやすい
14. aspekt / 相 / 見た目・様子・外観・局面を表し得る字。中国語「相貌」や「现象」、日本語「相(すがた)」など / 画数9画だが「貌」などよりは少ない
15. vid / 见 / 「見る」を表す中国語の最も基本的な簡体字。日本語「見」と同源 / 画数4画と非常に少なく、学習しやすい
16. rigard / 看 / 「(じっと)見る、眺める」の意味で中国語では基本的、日本語でも「看る」という形で対応可能 / 画数9画
17. aŭdienc / 会见 / 中国語で「公式に(要人と)会見する」、日本語でも「会見」として馴染みあり / 「会」は既出のため、学習コストやや抑えられる
18. referenc / 参考 / 中国語・日本語ともに「参考」が“参照する”・“参照資料”を意味する最も一般的な熟語 / シンプルかつ両言語で通じやすい
19. indeks / 索引 / いずれも中国語・日本語で“索引(インデックス)”を意味 / 2文字だが両言語で意味が明確
20. sugesti / 建议 / 「提案する」「～しようと勧める」を意味する中国語の常用熟語。日本語「建議」とも対応 / 「暗示(ヒント)」とは区別しやすい
21. revelaci / 启示 / 宗教的啓示・啓発を意味する標準的表現。日本語「啓示」とも近い / 画数そこそこだが意味対応が明確
22. montr / 示 / 「示す、見せる」の基本字。中国語の部首(示)としても認知度高 / 画数5画で学習コストが比較的低い
23. indik / 指 / 「指し示す、指摘する」を意味し、中国語・日本語共通で分かりやすい / 画数9画
24. alud / 暗示 / ほのめかす・間接的に示すこと。「暗示」は中国語・日本語双方で“ヒント・ほのめかし”を表す / 「示」は既出、組合せ熟語として再利用

cit / 引 / 「引用」の「引」。引用・例証のニュアンスを持つ / 画数少なく日本語圏にも馴染み深い

* menci / 提 / 「提及」「提到」で「言及する」ニュアンス / 「手(扌)」偏旁で動詞イメージ、日中ともに意味を類推しやすい
* pasi / 热 / 「熱情・情熱」を表す「热」のイメージ / 「熱(热)」系を情熱・熱狂系に集約して学習コスト削減
* fervor / 热 / 上に同じ (熱心・熱中のニュアンス) / 「热」で再利用
* entuziasm / 热 / 上に同じ (熱狂・熱中のニュアンス) / 同一漢字で統一
* sci/vol## / 好奇 / 「好奇心」の意味合いが最も直接的 / 1文字での対応が難しいため熟語とし、学習時の連想もしやすい
* interes / 趣 / 動詞「興味を持たせる」イメージ。「兴趣」の「趣」を単体で再利用 / 日本語「趣味」などでも馴染み有
* interes## / 趣 / 上に同じ (名詞「興味」)。同じ「趣」で動詞・名詞を区別
* ambici / 志 / 「野心」「雄心」などの意味をまとめて「志」(＝意志・大望)で簡潔に / 日中ともに比較的理解しやすい
* dezir / 望 / 「(を)望む」の直接イメージ。希望・欲求系を「望」に集約 / 日本語の「希望・願望」、中国語の「希望・渴望」などと結びつきやすい
* esper / 望 / 希望を表す最もシンプルな文字として「望」を再利用 / 「希望(espere)」との関連を直感しやすい
* avid / 望 / 「渇望・欲望」のイメージも「望」で統一 / 多少のニュアンス違いは振り仮名等で区別
* aspir / 望 / 「熱望する」「切望する」も「望」に吸収 / 多用することで漢字種を削減
* apetit / 食 / 食欲を示すのに最も直接的 / 「食欲」の「食」。日常的で認知度高い
* soif / 渴 / 物理的な「喉の渇き」 / 中国語「口渴」と同根、画数はやや多いが分かりやすい
* sopir / 渴望 / 「恋しがる」「切望する」のニュアンスを「渴望」で表現 / 既出の「渴」「望」を組み合わせ再利用
* verv / 热 / 芸術的情熱・活気「ヴェルヴ」も「熱意」として「热」に集約 / 熱系は全て「热」で通す方針
* vigl / 活 / 「活発な」の意味に直結 / 日本語「活発」、中国語「活泼」ともに関連が連想しやすい
* aktiv / 活 / 「活動的な」「積極的な」を「活」にまとめる / 「活働」という連想で日中双方理解しやすい
* nervoz / 紧张 / 神経質・緊張のニュアンスに最も近い常用表現 / 中国語日常語彙で意味明瞭
* nerv / 神经 / 解剖学的「神経」をストレートに / 単字では難しいため熟語採用
* energi / 能 / 「能力」「エネルギー」を端的に表す / 「能源」「能量」に使われる字で日中両方とも連想可能
* anim / 灵 / 魂・精霊(=霊)の簡体字 / 霊魂のイメージ。画数少なめ
* spirit / 神 / 精神・霊的な意味を示す代表的な字 / 「精神」などでも使う「神」を単字化
* mens / 心 / 「mind」「精神」「こころ」の基本イメージ / 最少画数でわかりやすい

1. spion / 谍 / 「諜(スパイ)」に相当 / 新出

* ES: spion
* 提案: 谍
* 選定理由: 「谍」は「间谍(スパイ)」の略用。単独ではやや文語的ですが、諜報活動の「諜」に相当し最も直接的。
* 学習コスト: 新出漢字。やや画数は多いが、他に簡潔な単字が存在しないため採用。

2. sfinks / 斯 / 音訳「ス」由来 / 新出

* ES: sfinks
* 提案: 斯
* 選定理由: 中国語では「斯芬克斯(sī fēn kè sī)」などと音訳されるが、短くまとめるため最初の「斯」を選択。
* 学習コスト: 新出漢字。「斯」は日本語話者にも固有名詞の音訳等で比較的目にする可能性あり。

3. ĉampan / 香槟 / 「シャンパン」 / 「香(香り)＋槟」

* ES: ĉampan
* 提案: 香槟
* 選定理由: 中国語で「香槟」はシャンパンの標準表現。
* 学習コスト: 「香」は既出または今後多用予定。「槟」は新出だが、中国語圏では「香槟」で馴染み深い。

4. skandal / 丑闻 / 「スキャンダル」 / 新出2文字

* ES: skandal
* 提案: 丑闻
* 選定理由: 中国語で「丑闻(chǒu wén)」は「スキャンダル」の一般的表現。「丑」は「醜い」「恥ずべき」などを連想。
* 学習コスト: 「丑」「闻」はいずれも新出。「闻」は後に「嗅」(匂いを嗅ぐ)との区別に注意。

5. gust / 味 / 「味＝あじ、テイスト」

* ES: gust
* 提案: 味
* 選定理由: 日本語の「味」とほぼ同じ意味。中国語でも「味(wèi)」は「味わい」「味覚」。
* 学習コスト: 1文字で画数も少なめ。

6. spic / 香料 / 「香辛料」

* ES: spic
* 提案: 香料
* 選定理由: 「スパイス」に相当。中国語で「香料(xiāng liào)」は一般的。日本語でも「香料」と書けば香辛料として通じる。
* 学習コスト: 「香」は再利用、「料」は新出。2文字だが意味の分かりやすさを優先。

7. parfum / 香水 / 「香りの水＝香水」

* ES: parfum
* 提案: 香水
* 選定理由: 中国語・日本語いずれも「香水」は「パフューム」。
* 学習コスト: 「香」は既出、「水」は新出だが最も基本的な漢字の1つ。

8. arom / 香气 / 「芳香」

* ES: arom
* 提案: 香气
* 選定理由: 中国語で「香气(xiāng qì)」は「香り・芳香」。
* 学習コスト: 「香」は既出、「气」は今後(空気・ガスなど)に使い回せる基本字。

9. odor / 气味 / 「におい」

* ES: odor
* 提案: 气味（※正字体なら「气味」）
* 選定理由: 中国語では「气味(qì wèi)」が「におい・臭い・香り」全般に対応し、肯定/否定を問わず「嗅覚的なにおい」。
* 学習コスト: 2文字とも既出(「气」「味」)を組み合わせるため、新規漢字なし。

10. flar / 嗅 / 「(を)嗅ぐ」

* ES: flar
* 提案: 嗅
* 選定理由: 中国語で「嗅(xiù)」は「匂いを嗅ぐ」。日本語も「嗅ぐ」と書くが、やや画数は多め。
* 学習コスト: 新出。「闻(wén)」にも「においをかぐ」意味はあるが、日本語では「聞」=「きく」になり混同しやすいため、動詞としては「嗅」が明確。

11. mosk / 麝香 / 「じゃこう」

* ES: mosk
* 提案: 麝香
* 選定理由: 「麝香(shè xiāng)」はムスクの代表的呼称。1文字「麝」は専門的すぎて馴染み薄。
* 学習コスト: 「麝」は新出、「香」は既出。

12. incens / 香 / 「香(こう)」

* ES: incens
* 提案: 香
* 選定理由: 中国語で「香(xiāng)」は「お香」そのものを指す場合がある。日本語でも「線香」など「香」で通じる。
* 学習コスト: 既出字。用途が広いが、振り仮名等で区別想定。

13. aer / 空气 / 「空気」

* ES: aer
* 提案: 空气
* 選定理由: 中国語で「空气(kōng qì)」が「空気」。日本語の「空気」と字面が似ており分かりやすい。
* 学習コスト: 「空」は新出、「气」は既出。

14. atmosfer / 大气 / 「大気」

* ES: atmosfer
* 提案: 大气
* 選定理由: 中国語で「大气(dà qì)」＝「大気」。日本語の「大気」とも近く、「空気」と区別しやすい。
* 学習コスト: 「大」は新出(画数3)。他で再利用の可能性高。「气」は既出。

15. vapor / 汽 / 「蒸気」(単字化)

* ES: vapor
* 提案: 汽
* 選定理由: 中国語の「汽(qì)」は本来「蒸気」「湯気」を指し、例「汽车」(自動車=“蒸気車”の名残)。1文字で済む。
* 学習コスト: 新出。画数は7画とやや多いが、関連語「气」と区別に注意。

16. gas / 气 / 「ガス」(正字体なら「气」)

* ES: gas
* 提案: 气（※簡体「气」）
* 選定理由: 中国語で「气」は「気体」を含む「ガス」を総称して指す場合が多い。「空气(空気)」などとも語源共有。
* 学習コスト: 既出。英語”gas”に相当。

17. stertor / 喘 / 「あえぎ; 荒い呼吸」

* ES: stertor
* 提案: 喘
* 選定理由: 中国語で「喘(chuǎn)」＝「喘ぐ、あえぐ」。日本語も「喘ぐ」の字に対応。
* 学習コスト: 新出。後述の「哮喘(喘息)」にも再利用予定。

18. spir / 呼吸 / 「呼吸する」

* ES: spir
* 提案: 呼吸
* 選定理由: 中国語「呼吸(hū xī)」は「息をする」全般の基本語。
* 学習コスト: 「呼」「吸」いずれも新出。画数は少なくはないが、動詞として一般的表現。

19. astm / 哮喘 / 「喘息=ぜんそく」

* ES: astm
* 提案: 哮喘
* 選定理由: 中国語で「哮喘(xiào chuǎn)」は「ぜんそく」。
* 学習コスト: 「哮」は新出、「喘」は#17で既出。

20. patent / 专利 / 「特許」

* ES: patent
* 提案: 专利
* 選定理由: 中国語で「专利(zhuān lì)」が「特許」。
* 学習コスト: 「专」「利」ともに新出だが、常用。日本語でも「専」「利」と雰囲気が近い(旧字体などは要注意)。

21. inĝenier / 技师 / 「技師」

* ES: inĝenier
* 提案: 技师
* 選定理由: 中国語「技师(jì shī)」は「技術者/エンジニア」に相当。やや「技術者」寄りの意味合い。
* 学習コスト: 「技」(後述teknikで再使用)新出、「师」新出。標準の「工程师」(3文字)よりも簡略。

22. art / 艺 / 「技術・芸術」(広義の「アート/技芸」)

* ES: art
* 提案: 艺
* 選定理由: 中国語「艺术(yì shù)=芸術」の略字部分。「技艺(jì yì)」の「艺」も「技芸」の意。
* 学習コスト: 新出。簡体字で画数は少なく、日本語の「芸」にも近い。

23. teknik / 技术 / 「技術」

* ES: teknik
* 提案: 技术
* 選定理由: 中国語で「技术(jì shù)」は「技術・テクニック」。
* 学習コスト: 「技」は#21ですでに使用、「术」は新出(画数5)。

24. teĥnik / 技术 / 「技術」(teknikと同義)

* ES: teĥnik
* 提案: 技术
* 選定理由: 「teĥnik」は「teknik」と同義表現なので同じ字を充当。
* 学習コスト: いずれも既出漢字。

25. kvalit / 质量 / 「品質・クオリティ」

* ES: kvalit
* 提案: 质量
* 選定理由: 中国語「质量(zhì liàng)」は「品質・クオリティ」を一般に指す(理科では「質量=mass」の意味もある)。
* 学習コスト: 「质」「量」いずれも新出。どちらも常用で今後再利用の可能性は高い。

karakteriz / 特 /

* + 選定理由: 「特徴づける」「特性を示す」など、中国語でも「特征(特徵)」や「特性」として“特”が使われるため。日本語でも「特殊」「特長」等から「特=とく/特殊」というイメージが湧きやすい。
  + 学習コスト等: 画数は比較的少なく(特=8画)、既出の漢字との大きな重複なし。

1. atribut / 属性 /
   * 選定理由: 中国語で「属性」は「属性(しょぞくせい)」と書き、日本語でも「属性」は馴染みがある表現。1文字で「属」「性」どちらかに集約するとやや意味が曖昧になるため、2文字熟語の「属性」を採用。
   * 学習コスト等: 「属(12画)」「性(8画)」はいずれも日本語圏・中国語圏で見慣れた字。「性」は今後複数個所でも登場予定のため、部分的に学習負担を共有可能。
2. karakter / 性格 /
   * 選定理由: 人格や個人の性質を表す「性格」は、中国語・日本語ともに同じ表記で意味が明確。「karakter」=「性格」と対応づけやすい。
   * 学習コスト等: 「性」はすでに(2)でも使用、「格」(10画)も日中双方でおなじみの字。
3. ec / 性 /
   * 選定理由: エスペラントの接尾辞「-ec」は「〜という性質」を表すため、中国語・日本語で「〜性」と用いる「性」が適切。意味連想もしやすい。
   * 学習コスト等: (2)(3)で登場した「性」を再利用することで重複を活かし、学習コストを削減。
4. funkci / 功能 /
   * 選定理由: 中国語で「機能」は「功能」と書く場合が多く、日本語でも「功能」と表記すれば概ね「機能・働き」の意味は推測可能。「功」単独では「功績・成果」寄りになるため、2文字熟語「功能」を選択。
   * 学習コスト等: 「功」(5画)は比較的画数が少なく、「能」(10画)も後に何度か登場する見込み。
5. volupt / 性感 /
   * 選定理由: 「官能的」「官能美」のイメージを中国語圏では「性感(sè gǎn)」が日常的に用いられる。日本語でも「セクシー」「性感帯」などから類推しやすく、「官能」のニュアンスに近い。
   * 学習コスト等: 「性」は既出。「感」(13画)はやや画数多めだが、日中双方で「感覚」「感情」など頻出のため学習コストは比較的低い。
6. pov / 能 /
   * 選定理由: 「〜できる」という能力を示すなら、中国語・日本語ともに「能」が広く通用。
   * 学習コスト等: 画数は10画だが、「能」は今後も繰り返し登場する見込みが高く、使い回すメリット大。
7. talent / 才能 /
   * 選定理由: 中国語でも「才能(cáinéng)」、日本語でも「才能(さいのう)」と同形で馴染み深い表現。
   * 学習コスト等: 「才」(3画)は画数が少なく、「能」は既出漢字との重複で学習コストを抑えられる。
8. kapabl / 能 /
   * 選定理由: 「capable(有能な)」は「能」で表現可能。pov(できる)や他の「能力」関係とも共通で使い回せる。
   * 学習コスト等: (7)と同じく「能」を再利用し、学習負担を削減。
9. kompetent / 能 /

* 選定理由: 「有能な」「適任の」という語義も「能」で十分カバー可能。
* 学習コスト等: 既に(7)(9)で「能」を採用しているので重複を活かせる。

1. merit / 值 /

* 選定理由: 「〜に値する」「価値がある」を中国語では「值得(zhí dé)」と言うが、1文字なら「値/值」(簡体字は「值」)が「価値・値打ち」を表現できる。
* 学習コスト等: 「值」(10画)は後の語根(価値系)とも重複利用を想定。

1. ind / 值 /

* 選定理由: 「価値がある」「〜に値する」(be worthy)を接尾辞的に表すなら「値(值)」で十分に対応可。
* 学習コスト等: (11)と同じ「値(值)」を流用し、学習コストを最小化。

1. kost / 价 /

* 選定理由: 「コスト」「価格」を示す単漢字としては「价」(簡体字。「價」の簡体形)が最も直接的。「值」との区別で「cost=价」「value=值」と割り振る。
* 学習コスト等: 「价」(6画)は比較的画数も少なく、「價」の簡体形として日本人にも推測しやすい。

1. valor / 值 /

* 選定理由: 「value, worth」そのものを表すなら「值」が自然。「価値=价值(jiàzhí)」の後半にも使われる字。
* 学習コスト等: (11)(12)と同じく「值」を再利用し、価値系の表現を統一。

1. ŝat / 赏 /

* 選定理由: 「好む」「賞賛する」「高く評価する」などを広くカバーできる漢字として「赏」(簡体:「赏」、日本語の「賞」に相当)を採用。中国語で「欣赏(鑑賞する/味わう)」などに通じる。
* 学習コスト等: 画数は8画とまずまず低め。「賞(しょう)」の簡体形なので日本語話者も意味を推測しやすい。

1. taks / 评 /

* 選定理由: 「評価する」「査定する」などは中国語で「评估(pínggū)」や「评价(píngjià)」が使われるため、1文字なら「评」で「評価・評論」の意味を表せる。
* 学習コスト等: 「评」(7画)は簡体のため日本語話者にはやや見慣れない形だが、「評」の簡体と分かれば容易に類推可能。

1. dign / 尊 /

* 選定理由: 「尊厳」「威厳」などを端的に表す際、中国語では「尊严(zūnyán)」が定番。1文字化するなら「尊」が“敬う・貴ぶ”ニュアンスを含み、dignity(尊厳)を示唆できる。
* 学習コスト等: 12画と少し多めだが、「尊」の字形は日中ともに意味を推測しやすい。

1. estim / 敬 /

* 選定理由: 「敬う」「尊敬する」を示す代表的な漢字。中国語・日本語の「敬意」「尊敬」などと同根。
* 学習コスト等: 「敬」(12画)は(19)とも重複する予定で、学習コストを抑えやすい。

1. respekt / 敬 /

* 選定理由: こちらも「尊敬」「リスペクト」なので(18)と同じ「敬」で十分。
* 学習コスト等: 「estim」と統一することで“尊敬する”系の表現をまとめ、覚えやすさ向上。

1. fier / 傲 /

* 選定理由: 中国語で「骄傲(jiāo’ào)」＝「誇り・傲慢」を表す。「骄」は簡体で日本人にはやや馴染みにくい。1文字なら「傲」(ごう)の方が「傲慢」「高慢」などで日中ともイメージしやすい。
* 学習コスト等: 12画とやや多いが、「骄」(9画)との使い分けも含め、より日本語寄りなら「傲」の方が連想しやすい。

1. hont / 耻 /

* 選定理由: 「恥」の中国語簡体字は「耻」。日本人にはやや形が違って見えるが、「羞耻」「耻辱」(＝羞恥・恥辱)などと対応し、「恥ずかしい」という概念を指すのに適切。
* 学習コスト等: 6画と簡体字としては比較的少なめ。

1. kar / 贵 /

* 選定理由: 「親愛な」「高価な」「尊い」といった含意を持つエスペラント「kar」。中国語の「贵(貴)」には「価値が高い、貴い」という意味があり、日本語でも「貴重」「貴族」で連想しやすい。
* 学習コスト等: 9画。日中ともに「貴→贵」の対応を比較的容易にイメージできる。

1. ĉarm / 魅 /

* 選定理由: 「魅力」「魅惑」という形で中国語・日本語共に用いる「魅」が“チャーム・人を惹きつける力”を連想しやすい。
* 学習コスト等: 15画とやや多いが、単独で「魅」＝“charm”という対応は理解しやすい。

1. bel / 美 /

* 選定理由: 「美しい」は日中ともに「美」の字が直観的。
* 学習コスト等: 9画でまずまず少ない。非常に汎用性の高い字。

1. graci / 雅 /

* 選定理由: 「優美」「上品」「エレガント」に近い意味を中国語・日本語で1文字に絞るなら「雅」。中国語でも「优雅」と組み合わせるが、単独の「雅」にも「優美・高尚」の含みがある。
* 学習コスト等: 12画だが、上品さや風雅を連想しやすい。

elegant

* + 提案: 雅
  + 理由: 「雅」は日中ともに「上品・優雅」の意味で広く認知されている。
  + 学習コスト: 単一字。日本語でも「雅楽」などで馴染みがあり、意味連想しやすい。

1. majstr
   * 提案: 师
   * 理由: 簡体字「师」（日本語の「師」）は「師匠・大師・巨匠」のニュアンスを伝えやすい。
   * 学習コスト: 単一字。画数も少なく、再利用可能性が高い。
2. geni
   * 提案: 才
   * 理由: 「天才」「才能」の「才」。日本語でも「才能」としてなじみがある。
   * 学習コスト: 単一字。「才」で「天才」を連想しやすい。
3. elokvent
   * 提案: 雄辩
   * 理由: 中国語で「雄辩」は「雄弁」「説得力ある弁舌」を表す表現。単一字では対応しにくいため2文字熟語。
   * 学習コスト: 「雄」(既出予定: 後に「雄伟」などで再利用) + 「辩」。やや画数はあるが、日本語の「雄弁」と近い。
4. nobl
   * 提案: 贵
   * 理由: 簡体字「贵」（日本語の「貴」）。「高潔・高貴」のニュアンスを単字で表しやすい。
   * 学習コスト: 単一字。のちに「贵族」などへ発展可能。
5. solen
   * 提案: 庄严
   * 理由: 「庄严」は中国語で「荘厳」「厳粛」の意味。単一字ではやや無理があるため2文字表記。
   * 学習コスト: 新出は「庄」「严」。どちらも画数は比較的少なめ。
6. majest
   * 提案: 威严
   * 理由: 「威严」は「威厳」「尊厳」「雄大さ」を含むニュアンスを持つ。
   * 学習コスト: 「威」は新出だが、「严」はすでに(6)で登場。再利用により若干軽減。
7. grandioz
   * 提案: 雄伟
   * 理由: 「雄伟」は「雄大で壮麗なこと」を表す中国語表現。
   * 学習コスト: 「雄」は(4)と同じ字を再利用。「伟」(簡体字)が新出だが画数は比較的少なめ。
8. pomp
   * 提案: 华丽
   * 理由: 「华丽」は「華麗・壮麗・きらびやか」を表す。日本語「華麗」と近く、イメージが掴みやすい。
   * 学習コスト: 新出「华」「丽」。いずれも比較的画数が少なく、後述の「奢华」などで「华」は再利用。
9. luks

* 提案: 奢华
* 理由: 「奢华」は「ぜいたく・豪華」を直裁に表す。
* 学習コスト: 「奢」が新出。「华」は(9)で既出。

1. nobel

* 提案: 贵族
* 理由: 「贵族」は「貴族階級」を示す直接的な表現。
* 学習コスト: 「贵」は(5)既出、新出は「族」のみ。

1. aristokrat

* 提案: 贵族
* 理由: 「aristokrat」自体が「貴族」「上流階級」を指すため、「nobel」と同じく「贵族」で対応。
* 学習コスト: 既に(11)で登場のため再利用。

1. profit

* 提案: 利
* 理由: 「利益」「利潤」を端的に表すシンプルな単字。
* 学習コスト: 単一字。画数も少なめ。

1. rajt

* 提案: 权利
* 理由: 「权利」は「権利」を意味する標準的な2文字表現。単一字で権利を表すのは難しいため。
* 学習コスト: 「权」は新出だが、「利」は(13)で既出。

1. privilegi

* 提案: 特权
* 理由: 「特权」は「特権」を指す中国語の常用表現。
* 学習コスト: 新出「特」、ただし「权」は(14)再利用。

1. vol

* 提案: 要
* 理由: 「要」は中国語で「～したい」「要る」の意味も含み、「～する意志」を比較的シンプルに表せる。
* 学習コスト: 単一字。画数9画。

1. volont

* 提案: 愿
* 理由: 「愿」(日本語の「願」)は「自ら進んで～したい・進んで望む」の含意が強く、"willing/voluntary" に近い。
* 学習コスト: 単一字だが12画（簡体字）。「要」と使い分けでニュアンス差を表現。

1. plaĉ

* 提案: 喜
* 理由: 「喜」は「喜ぶ」「気に入る」「好む」のニュアンスを単字で示しやすい。
* 学習コスト: 単一字。日本語でも「喜び」として認知度が高い。

1. prefer

* 提案: 宁
* 理由: 「宁」は本来「寧ろ（むしろ）」「寧願（～するほうがよい）」などを表し、「prefer」の“より好む・より選ぶ”感覚に近い。
* 学習コスト: 単一字・5画と少ない。ただしやや意訳的。

1. feliĉ

* 提案: 福
* 理由: 「福」は「幸福・幸い」の象徴的な字。日中ともに「めでたい・幸せ」のイメージが強い。
* 学習コスト: 単一字。古くから縁起の良い字として広く認知。

1. ĝoj

* 提案: 乐
* 理由: 「乐」（日本語「楽」）は「喜び・楽しさ」を表す代表的な簡体字。
* 学習コスト: 単一字。後続の「plezur」「gaj」などもまとめて対応可能。

1. plezur

* 提案: 乐
* 理由: 「plezur」は「喜び・楽しみ」。(21)同様に「乐」で「楽しい」「悦び」全般をカバー。
* 学習コスト: (21)と同じ字で再利用。

1. gaj

* 提案: 乐
* 理由: 「陽気・愉快」も「乐」で包含可能。単一字で「喜ばしい・楽しげな」含意を十分表せる。
* 学習コスト: すでに(21)(22)で登場。学習負担を減らせる。

1. agrabl

* 提案: 快
* 理由: 「快」は「快い・気持ちよい・愉快な」のニュアンスがある。
* 学習コスト: 単一字。日本語でも「快適」「快感」などで馴染みあり。

1. favor

* 提案: 好
* 理由: 「好」は「好意・好き・よい」の意味をもち、"favorable"なイメージを簡潔に表現。
* 学習コスト: 単一字。日本語の「好（すき・こう）」とほぼ同義で分かりやすい。

avantaĝ / 利 /

* + 選定理由: 「利益」「有利」などの語感から。日本語でも「利点」「有利」、中国語でも「利益」「有利」などで広く使われ、「優位・メリット」を連想しやすい。
  + 学習コスト: 基本部首は「刀」偏だが、画数(7画)はそこまで多くない。

1. util / 用 /
   * 選定理由: 「用いる」「使用する」という語感。日中いずれでも「使用」「用法」など“使う”意味を直接連想しやすい。
   * 学習コスト: 5画で比較的少ない。
2. oportun / 便 /
   * 選定理由: 「便利」「方便」など、まさに「都合がいい」「手軽である」ニュアンスに直結。
   * 学習コスト: 9画(簡体字としては同形)だが、日常語で認知度は高い。
3. special / 特 /
   * 選定理由: 「特別」「特有」、中国語でも「特别」など、「特別感」をイメージしやすい。
   * 学習コスト: 10画だが、非常にポピュラーな字。
4. ekstr / 余 /
   * 選定理由: 「余分」「余剰」の語感から「余計」「追加分」「余り」という「追加・特別に余ったもの」に対応させる。
   * 学習コスト: 7画。日本語・中国語ともに「余」を“あまり・余剰”として認識しやすい。
5. sol / 唯 /
   * 選定理由: 「唯一」「ただ～だけ」というニュアンス。「唯～」は中国語でも「ただ～だけ」の意味。
   * 学習コスト: 11画とやや多いが、「唯一」のイメージで日中ともに“ただ一つ”を連想しやすい。
6. unik / 独 /
   * 選定理由: 「独特」「独一無二」「単独」など「ユニーク」「唯一無二」感を連想できる。
   * 学習コスト: 9画。こちらも頻出字。
7. apart / 别 /
   * 選定理由: 「分別」「別れる」「別々」など「離れている、他とは違う」の意味で日中ともにイメージしやすい(簡体字は「别」)。
   * 学習コスト: 7画。
8. izol / 隔 /
   * 選定理由: 「隔離」「隔絶」など“物理的・心理的に隔てる”ニュアンス。
   * 学習コスト: 11画とやや多めだが、隔離の意味を直接想起しやすい。
9. fremd / 外 /

* 選定理由: 「外国」「対外」「外来」など「外のもの」を表しやすい。結果的に「異国」「よそ」のイメージとも通じる。
* 学習コスト: 5画で少ない。ほかの「外部」「外側」の意味にも流用しやすい。

1. divers / 多 /

* 選定理由: 「多様」「多種」「多数」など、“種類がたくさんある”という感覚。
* 学習コスト: 6画で比較的覚えやすい。

1. diferenc / 异 /

* 選定理由: 「差異」「異なる」「変わった」という意味合いの簡体字。「異(異なる)」の簡体形。
* 学習コスト: 簡体字は 6画。日本語の「異(こと)なる」に通じる。

1. ali / 他 /

* 選定理由: 「他(ほか)」「その他」「他者」「他方」など「別の～／ほかの～」を連想しやすい。
* 学習コスト: 5画。

1. ceter / 余 /

* 選定理由: 「残りの」「余りもの」の含意。既に ekstr にも「余」を使っているので使い回し(区別が要る場合は添字など)。
* 学習コスト: 同上(7画)。重複利用で総字数削減。

1. ekskluziv / 排 /

* 選定理由: 「排他」「排除」「排斥」など、“他を退ける・締め出す”イメージが強い。
* 学習コスト: 11画だが、「排他的」「排除する」で馴染み深い。

1. escept / 除 /

* 選定理由: 「除外」「解除」など、“取り除く、除く”という意味で広く通用。
* 学習コスト: 10画。「排」と組み合わせた「排除」は中国語・日本語ともに「exclude」の代表表現。

1. krom / 另 /

* 選定理由: 「另外(別の、ほかに)」「另行(別途)」など、「他に、ほかに加えて」「～を除いて」のニュアンスがある。
* 学習コスト: 5画と少なく、簡体字として日常的に見かける。

1. ekster / 外 /

* 選定理由: 文字通り「外部」「外側」。fremd(外国の)にも「外」を使っているので、同字運用でさらに総数を削減可(区別には添字など)。
* 学習コスト: 同上(5画)。

1. intern / 内 /

* 選定理由: 「内部」「内在」。日本語でも「～内」、中国語でも「内部」「内在」など、わかりやすい。
* 学習コスト: 4画とかなり少なく、学びやすい。

1. inkluziv / 包 /

* 選定理由: 「包括」「包含」など、“中に含む・包み込む”で「含む」を連想しやすい。
* 学習コスト: 5画で短い。

1. hav / 有 /

* 選定理由: 中国語で「有(持っている)」、日本語でも「有無(ある/ない)」「所有(もつ)」と結びつきやすい。
* 学習コスト: 6画。

1. est / 是 /

* 選定理由: 中国語の「～は…である」の基本動詞。日本語でも「正しい(是)／”ぜ”」の字と認識はしやすい。
* 学習コスト: 9画。

1. ekzist / 存 /

* 選定理由: 「存在」「存続」「生存」など、“ある・存在する”の意味を直観しやすい。
* 学習コスト: 6画。

1. posed / 有 /

* 選定理由: 「所有」「拥有」の「有」を再利用。「持っている／所有している」なら「有」でほぼ共通化可能。
* 学習コスト: hav と同じ字を使うことで学習負荷削減(必要なら添字で区別)。

1. aparten / 属 /

* 選定理由: 「附属」「归属」のように、“～に属する”を意味する定番の字。
* 学習コスト: 12画とやや多めだが、ほかに「所属」を端的に示す簡体字があまりない。

neces / 必 /  
　- 選定理由: 「必(かならず)」は日中ともに「不可欠」「必須」「必然」などの語で“必要”のニュアンスを表しやすい。  
　- 学習コスト: 画数が少なく(5画)、同じ「必」を「dev」「end」にも再利用することで字数節約。

1. bezon / 要 /  
   　- 選定理由: 「要(よう)」は日本語で「重要」「必要」、中国語では「需要」「要(～したい/必要とする)」の用法があり、“必要とする”ニュアンスが分かりやすい。  
   　- 学習コスト: 9画だが、広く使われる字で、日本語話者にも認知度が高い。
2. dev / 必 /  
   　- 選定理由: 「dev(～しなければならない)」は、義務感・強制性を表すため、同じ「必」で「必須」「必然」「必ず～しなければならない」を想起しやすい。  
   　- 学習コスト: 「neces」と同じく「必」で統一し、重複使用により習得負担を軽減。
3. end / 必 /  
   　- 選定理由: 「～されねばならない」「～されるべき」という受動的な“必要”を表す接尾辞。やはり「必」に含まれる“必然・不可避”の感覚が近い。  
   　- 学習コスト: 「必」を三重複利用。学習コスト大幅削減。
4. aplik / 用 /  
   　- 選定理由: 「aplik(応用する)」は「用(もちいる)」「应用」という語から連想しやすい。  
   　- 学習コスト: 5画で比較的単純。「uz」「dispon」と同じ字で再利用可能。
5. uz / 用 /  
   　- 選定理由: 「uz(使う)」は「用(使う)」の意味そのまま。「使用」「利用」などに通じ、日中ともに把握しやすい。  
   　- 学習コスト: 既出の「用」と同一。重複利用でコスト削減。
6. dispon / 用 /  
   　- 選定理由: 「dispon(自由に使う)」も広義の「用(使う)」に含めてしまい、上付き注などで「自由裁量で使う」ニュアンスを補う。  
   　- 学習コスト: 「用」の三重複利用。シンプルだが区別は別途注釈で対応。
7. konsum / 费 /  
   　- 選定理由: 「消費する」は中国語で「消费」、うち「费(費)」は“費用”“消費”のコア。日本語「費(ひ)」としても認知しやすい。  
   　- 学習コスト: 9画だが「消費」の概念に直結。新出字は最小限に抑えたいが、ここではやむを得ず採用。
8. barakt / 争 /  
   　- 選定理由: 「もがく」「苦闘する」は中国語「挣扎(挣+扎)」「斗争(斗+争)」などで表すが、画数や認知度を考え「争(あらそう)」を採用。  
   　- 学習コスト: 6画。日本語でも「争う」で“もがく・闘う”イメージは伝わりやすい。
9. pen / 努 /  
   　- 選定理由: 「努力する」の直感的な字として「努」。日本語でも「努力(どりょく)」、中国語でも「努力(nǔlì)」。  
   　- 学習コスト: 7画。同じ「努」で近い意味の「klopod」「streb」とも共有可。
10. klopod / 努 /  
    　- 選定理由: 「奔走する・奔忙する」は“努力して動き回る”ニュアンス。広義で「努」に包含。  
    　- 学習コスト: 「pen」「streb」と共通化。「努」でまとめる。
11. prov / 试 /  
    　- 選定理由: 「試す」は中国語「尝试」「试验」などの“试”。日本語「試す(ためす)」の「試(し)」に相当。  
    　- 学習コスト: 8画。試験の「試」の簡体字(试)なので日本語圏にも比較的連想しやすい。
12. streb / 努 /  
    　- 選定理由: 「全力を尽くす」は「努める」とかなり近い。同じく「努」を再利用。  
    　- 学習コスト: 「pen」「klopod」と同字に統合することでコスト圧縮。
13. aŭdac / 敢 /  
    　- 選定理由: 「ずぶとい・大胆不敵」は「敢(あえて)」「勇敢」「果敢」。中国語でも「勇敢 yǒnggǎn」の「敢」を担う部分。  
    　- 学習コスト: 8画。やや新出だが、ニュアンスが的確。
14. kuraĝ / 勇 /  
    　- 選定理由: 「勇気・勇敢」の「勇」。日本語中国語ともに“勇＝ブレイブ”のイメージが定着。  
    　- 学習コスト: 9画。以下の「brav」と共用可能。
15. brav / 勇 /  
    　- 選定理由: 「勇敢な」は「勇」とほぼ重なる。「勇ましい」「勇気ある」の意味領域を共有。  
    　- 学習コスト: 「kuraĝ」との重複利用で学習効率UP。
16. diligent / 勤 /  
    　- 選定理由: 「勤勉な」は中国語「勤奋」、日本語「勤勉」の「勤(きん)」。分かりやすい。  
    　- 学習コスト: 13画とやや多めだが、最適字として選定。
17. pacienc / 忍 /  
    　- 選定理由: 「我慢強い」「耐える」は「忍(しのぶ)」。中国語でも「忍耐(rěnnài)」のコア。  
    　- 学習コスト: 7画。日本語「忍者(ninja)」連想で意外と認知度高い可能性。
18. persist / 坚 /  
    　- 選定理由: 「頑張る」「粘り強く続ける」は中国語「坚持」の「坚(固い)」。簡体字「堅→坚」。  
    　- 学習コスト: 7画。「堅持」や「堅固」のイメージで“続ける/耐える”意味を想起可能。
19. super / 上 /  
    　- 選定理由: 「上方に」「越えて」のコアイメージとして最短字「上」を採用。  
    　- 学習コスト: 3画の極小字で、日本語・中国語ともに“上”は極めて基本的。
20. supr / 顶 /  
    　- 選定理由: 「頂上」の「頂」は簡体で「顶」。日本語話者にも「頂点」「いただき」で通じる。  
    　- 学習コスト: 8画。top/頂点/頭頂など、“最上部”を表しやすい。
21. lev / 升 /  
    　- 選定理由: 「(を)上げる」「持ち上げる」は「举」もあるが、画数の少ない「升(あがる/ます)」を採用。  
    　- 学習コスト: 4画と非常にシンプル。日本語でも「升(ます)」で多少なじみあり。
22. grimp / 爬 /  
    　- 選定理由: 「よじ登る」「よじのぼる」なら中国語「爬(は)＝爬山(山を登る)」が妥当。  
    　- 学習コスト: 8画。日本語では「爬虫類(はちゅうるい)」の字である程度連想可能。
23. furor / 热 /  
    　- 選定理由: 「大流行」「ブーム」は「热潮(熱潮)」「热门(人気)」など“熱”が中国語圏の「大人気」を指すキーワード。  
    　- 学習コスト: 10画。簡体字「热(熱)」は日本語話者も「熱」として把握可能。
24. sukces / 成 /  
    　- 選定理由: 「成功する」は中国語「成功」、日本語でも「成就・成功」として「成」に“成し遂げる”の意味が強い。  
    　- 学習コスト: 6画。比較的シンプルで認知度も高い。

prosper / 荣 / 「繁栄」「栄える」に通じる。日中双方で「栄(榮)」の簡体字として認識しやすい / 新出

1. tro / 太 / 「あまりに～すぎる」「過度」のイメージ。中国語の「太大(あまりにも大きい)」などと同根 / 既出なし(以下ekscesと共用しユニーク数削減)
2. eksces / 太 / 「過剰」「度を越す」。(2)と同じく「太」で兼用し，読み分けで対応 / (2)と同字
3. ekstrem / 极 / 「極端」「極度」の意味に対応。簡体字「极」は日本語の「極」と近い / 新出
4. tre / 甚 / 「非常に」「たいへん」に相当。古くから「甚だ」「甚大」などで日本語にも馴染み / 新出
5. ampleks / 广 / 「大きさ・範囲・広がり」のイメージ。簡体字「广」は「廣」の略体 / 新出
6. larĝ / 宽 / 「幅が広い」「ワイド」。簡体字「宽」は「寬」の略体 / 新出(以下vastと共用)
7. vast / 宽 / 「広い」「広大な」。(7)と同義的なので同字割当 / (7)と同字
8. grand / 大 / 「大きい」。最も基本的な“大”をそのまま採用 / 新出
9. eg / 巨 / 「強大」「非常に大きい」。以下のkolos, gigantとも重複割当 / 新出(以下kolos,gigantと共用)
10. kolos / 巨 / 「巨大な」「巨像」。(10)と同じ字で「非常に大きい」ニュアンス / (10)と同字
11. gigant / 巨 / 「巨人」「巨大」。(10)と同じ字で集約 / (10)と同字
12. tim / 恐 / 「恐れる」。中国語でも「恐惧」，日本語でも「恐怖」で用いられる / 新出(以下terurと共用)
13. terur / 恐 / 「恐怖」「おそろしい」。(13)と同じ字(読み分けで対応) / (13)と同字
14. minac / 胁 / 「脅す」「威嚇する」。簡体字「胁」は日本語「脅」の略体 / 新出
15. kompromit / 危 / 「危険にさらす」「危うくする」。以下risk, danĝerとも重複割当 / 新出(以下risk,danĝerと共用)
16. risk / 危 / 「(生命・財産などを)危険にさらす」。(16)と共用 / (16)と同字
17. danĝer / 危 / 「危険」「危機」。(16)と共用 / (16)と同字
18. mizer / 惨 / 「悲惨」「みじめ」。以下tragik, tragediとも重複割当 / 新出(以下tragik,tragediと共用)
19. tragik / 惨 / 「悲惨な」「痛ましい」。(19)と共用 / (19)と同字
20. tragedi / 惨 / 「悲劇」。(19)と共用 / (19)と同字
21. plag / 灾 / 「天災」「災難」「(比喩的に)災い」。以下katastrofとも重複割当 / 新出(以下katastrofと共用)
22. katastrof / 灾 / 「大災害」「破局」。(22)と共用 / (22)と同字
23. mir / 奇 / 「不思議に思う」「驚嘆する」。中国語「惊奇」や日本語「奇跡」などで“驚き・不思議”を連想可 / 新出
24. surpriz / 惊 / 「(不意に)驚かす」「びっくりさせる」。簡体字「惊」は日本語の「驚」の略体 / 新出

1) mirakl

mirakl / 奇迹 /

* 選定理由: 「奇迹」は「奇跡」に相当する標準的な簡体字表現であり、「miracle(奇跡)」を直接想起しやすいため。
* 既出の偏旁や学習コスト: 今後「奇」を再利用する可能性が高く、学習コストをある程度抑えられると考えられる。

2) strang

strang / 奇怪 /

* 選定理由: 「奇怪」は「奇妙・不思議・変わっている」を表す一般的な簡体字表現。エスペラントの“strange”に対応。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「奇」はすでに上記mirakl「奇迹」で用いた要素と重複するため、学習コストをやや抑えられる。

3) kurioz

kurioz / 好奇 /

* 選定理由: 「好奇」は「興味・好奇心がある」「珍しいと思う」ニュアンスを表す一般的な表現。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「奇」はstrang, miraklと同じ偏旁を含む。「好」は初登場だが画数も比較的少なく、日本語圏でも意味を連想しやすい。

4) bagatel

bagatel / 小事 /

* 選定理由: 「小事」は「些細なこと」「つまらないこと」を意味し、対応が容易。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「小」「事」ともに比較的基本的な漢字で、今後も他の語根で利用される可能性があり学習効率が良い。

5) inert

inert / 惰 /

* 選定理由: 本来「惰性」を含む「惰性(惯性)」などで「慣性・惰性」を表すが、ここでは意味の中心となる「惰(=怠ける・動きが鈍い)」を単独で採用。
* 既出の偏旁や学習コスト: 1文字で済ませるため学習コストは比較的低いが、新出の偏旁であり多少の追加学習が必要。

6) indiferent

indiferent / 冷漠 /

* 選定理由: 「冷漠」は「無関心で冷たい態度」の意を表す表現として一般的。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「冷」は今後「冷淡」(apati)にも流用可能。「漠」はやや画数が多いが、日本語でも「砂漠」の字として馴染みがある。

7) apati

apati / 冷淡 /

* 選定理由: 「冷淡」は「関心を示さない・感情の起伏に乏しい」という意味で「アパシー(無感動)」に対応しやすい。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「冷」は上記indiferentと共通。「淡」は新出だが比較的単純な構造。

8) van

van / 徒劳 /

* 選定理由: 「徒劳」は「無駄に終わる・報われない」という意味をよく表し、“in vain”のニュアンスに近い。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「徒」「劳」ともに新出だが、どちらも画数は中程度。

9) vant

vant / 虚荣 /

* 選定理由: 「虚荣」は「虚栄・うわべだけの名誉」を表し、“vain”や“vanity”に対応しやすい。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「虚」「荣」ともに新出のため追加学習が必要だが、どちらも日本語である程度意味を推測可能。

10) stult

stult / 愚 /

* 選定理由: 「愚」は「おろか・愚かしい」という意味で、中国語でも単独で「愚蠢」「愚人」などの派生語に通じる。
* 既出の偏旁や学習コスト: 1文字のためシンプルだが画数はやや多め。ただし日本語でも「愚か」として使われるため意味連想は容易。

11) absurd

absurd / 荒谬 /

* 選定理由: 「荒谬」は「道理に合わない・不条理」という意味の一般的表現で、“absurd”を示すのに適切。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「荒」「谬」ともに新出。どちらも日本語圏にも部分的に類推可能(「荒」は同形、「谬」は「謬」の簡体字)。

12) koket

koket / 妖艳 /

* 選定理由: 「妖艳」は「艶っぽく誘惑する」「なまめかしい」イメージに近く、coquettishのニュアンスが伝わりやすい。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「妖」「艳」ともに新出。いずれも画数は比較的少なく、造形がはっきりしている。

13) komik

komik / 可笑 /

* 選定理由: 「可笑」は「おかしい・滑稽・笑える」意味合いで、中国語でも「可笑」「好笑」としてコメディ要素を示す表現として通用。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「可」は初登場、「笑」も初登場。ただしどちらも筆画は多くないため学習負担は比較的軽い。

14) cinik

cinik / 犬儒 /

* 選定理由: 「犬儒」は「犬儒主义(シニシズム)」などで使われる。学術・辞書的には標準的な中国語訳。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「犬」「儒」ともに初登場。やや専門的だが、対応語が少ないため妥協案として割り当て。

15) ironi

ironi / 讽刺 /

* 選定理由: 「讽刺」は「皮肉」や「風刺」という意味で広く使われ、中国語で“irony/ironical”を表す際に頻出。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「讽」「刺」は初登場。ともに比較的使用頻度が高く、日本語圏にも「風刺(諷刺)」として意味が伝わりやすい。

16) frenez

frenez / 疯狂 /

* 選定理由: 「疯狂」は「狂っている・正気を失っている」などのニュアンスで、“crazy, insane”に相当。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「疯」「狂」は新出。画数は中程度だが中国語ではよく用いられる組み合わせ。

17) delir

delir / 谵妄 /

* 選定理由: 「谵妄」は医学用語として「譫妄(せんもう)」に対応し、精神錯乱やうわごとを言う状態を表す。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「谵」「妄」は初登場だが、ともに医療や精神疾患関連で標準的な用語。

18) avar

avar / 贪 /

* 選定理由: 「贪」は「貪る・欲が深い」という意味をストレートに表し、単独でも「貪婪(贪婪)」などの派生を示唆。
* 既出の偏旁や学習コスト: 1文字で済み、画数も少ない(「贪」は簡体字で7画)。日本語の「貪」とも近い。

19) ruz

ruz / 奸诈 /

* 選定理由: 「奸诈」は「ずるがしこい・狡猾で悪質な」という意味で、“cunning, sly”を正確に表せる。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「奸」「诈」は初登場だが、どちらも比較的画数は少なく、分かりやすい構成。

20) rapid

rapid / 快 /

* 選定理由: 「快」は「速い」という意味を持ち、日本語でも「快速」などでなじみ深い。
* 既出の偏旁や学習コスト: 1文字で画数も7画程度のため比較的軽い。

21) fru

fru / 早 /

* 選定理由: 「早」は「時間的に早い」という意味そのものであり、非常に直感的。
* 既出の偏旁や学習コスト: 1文字、画数も少なく日本語でも同形同義。

22) tuj

tuj / 立刻 /

* 選定理由: 「立刻」は「ただちに・すぐに」を表す標準的な簡体字の言い回し。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「立」「刻」は初登場だが、いずれも比較的馴染みのある字(日本語でも「立」「刻」は常用)。

23) baldaŭ

baldaŭ / 不久 /

* 選定理由: 「不久」は「まもなく・ほどなく」の意味。日常表現としても使いやすい。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「不」「久」はいずれも画数が少なく、日本語にも同形で存在する。

24) hodiaŭ

hodiaŭ / 今天 /

* 選定理由: 「今天」は「今日」を示すごく基本的な単語で、わかりやすい。
* 既出の偏旁や学習コスト: 「今」「天」は日本語でも一般的な形。非常に初歩的な漢字の組み合わせ。

aktual / 现 / 「現(在)」「当前」の意味合いを持ち、“現在・現実的”を表しやすい / 画数も少なく、日本語「現」、中国語「现」と対応

1. nun / 今 / 「今・現在」の最も直接的な単字 / 日本語・中国語ともに「今」で“いま”を連想しやすい
2. modern / 现代 / 「现代(現代)」は日中で“モダン・近現代”を示す代表的表現 / 2文字熟語だが非常にわかりやすい
3. mod / 尚 / 「时尚(ファッション)」の「尚」を単字に採用、“ファッショナブル”や“流行り”のニュアンス / 「尚」自体は日本語では「尊ぶ」「なお」といった意味もあるが、中国語では「时尚」の一部として“流行”を連想しやすい
4. popular / 流 / 「流行」の「流」を単字化して“多くに受け入れられている”イメージを表現 / 「mod」と同じく「流行」を想起できるよう、同じ要素から一文字を使い回し
5. publik / 公 / 「公共」「公衆」など“公(おおやけ)”を表す / 日本語の「公(おおやけ)」、中国語の「公共」からイメージしやすい
6. vulgar / 俗 / 「通俗」「庸俗」など“俗(ぞく)”＝“通俗・下品”を表現 / 日中とも“俗”の字が「世俗・俗っぽい」意味を持つためわかりやすい
7. komun / 共 / 「共同・共有・共通」の「共」 / 日本語でも「共通」、中国語「共同」で“いっしょに”の概念が伝わる
8. ĝeneral / 总 / 「总(総)合」「总括(総括)」のイメージで“全般・全体”を表しやすい / 日中双方で「総(總)」と通じる
9. universal / 普 / 「普(遍)」の意味で“広く行き渡る・全般的”を指しやすい / 日本語でも「普及」「普通」として親しみがある
10. bon / 好 / 「良い」「好き」「好ましい」を示す最も基本的な漢字 / 中国語でも“好(ハオ)＝良い”の意で学習しやすい
11. eminent / 优 / 「優(秀)」の簡体字で、“傑出・卓越”を示す / 中国語「优秀(優秀)」に直結、日本語でも「優」の意味で伝わる
12. skrupul / 慎 / 「谨慎(謹慎)」「慎重」の「慎」を採用、“細心・丁寧・慎重”を強調 / 日本語・中国語とも“慎重”の意味を連想できる
13. preciz / 确
14. ekzakt / 确
15. cert / 确

* 上記3つはいずれも「正確・精確・確かな・確実な」など、意味が近い(“正確性”や“確実さ”)
* 中国語で「确(确实/准确/确切)」は “正確・確実”のニュアンスが強く、日本語「確(たしか)」とも通じやすい
* \*\*同一文字「确」\*\*を使い回して学習コストを削減

1. konkret / 实 / 「実(际)」「实体」で“具体的・実質的”を表す / 日本語「実」、中国語「实」で“抽象でない具体性”を連想可
2. spert / 熟 / 「熟(練)」「熟知」で“経験豊富・慣れた”を表す / 中国語「熟练」、日本語「熟練」からの連想が容易
3. praktik / 践 / 「实践(実践)」の「践」 / “実践に移す”“踏み行う”イメージ / 「行」等よりも“実行・行動”を強調できる
4. eksperiment / 验 / 「实验(実験)」の「验(験)」を抽出 / 日中とも「験/验」で“試す・実験”の連想がしやすい
5. pret / 备
6. prepar / 备

* どちらも「準備が整った」「用意する」といった意味で、「准备(準備)」の「备(備)」にまとめる
* 同一文字を再利用し、学習コストを下げる

1. fin / 终 / 「终(終)了」「结束」の意味で“終える・終わり”を表す / 中国語では「终」(簡体字)、日本語でも「終」の簡体形とわかる
2. ating / 达 / 「到达(到達)」「達成」の「达(達)」を選択 / “到着・成し遂げる”両方のニュアンスをカバーできる
3. far / 作 / 「作(作る/する)」「做(行う)」のうち、日本語圏にも馴染みのある「作」を採用 / “する・行為をする”という意味合いを広く含む

plen/um## / 完 / 「完」は「完成・終了・果たす」という意味合いを持ち、日中双方で通じやすい / 新規採用（画数7）

1. nov / 新 / 「新」は“新しい”の意。最も基本的な「新」の字で、日本語圏・中国語圏ともに理解しやすい / 新規採用（画数13）
2. freŝ / 鲜 / 「鲜」は“新鮮”・“鮮度”の意味。日本語「鮮」(旧字体)とも対応し、直感的に「フレッシュ」を連想できる / 新規採用（画数11）
3. nur / 只 / 「只」は“ただ～だけ”“僅かに”の意。中国語では「只」も「仅」も「ただ～だけ」を表すが、画数が少なく日本でも見かける形として選定 / 新規採用（画数5）
4. ĵus / 刚 / 「刚」は“たった今”“ついさっき”の意味（「刚才」など）。日本語でも「剛」の簡体字と分かりやすい / 新規採用（画数6）
5. subit / 突 / “突然”“不意に”の意を単字で表せる字。「突然」の略イメージにも近い / 新規採用（画数8）
6. abrupt / 突 / 「subit」と同義域のため、同じ「突」を流用し字種を抑制 / 既出再利用（学習コスト低減）
7. provizor / 暂 / 「暂」は“暫定・臨時”の意味（「暂时」）。日本の「暫(しばらく)」にも通じ、意味を想起しやすい / 新規採用（画数9）
8. moment / 刻 / “瞬間”・“一刻”の「刻」。単字でも「短い時」を表すイメージがある / 新規採用（画数8）
9. konstant / 恒 / “恒常的・不変”を表す漢字。日本語「恒星」「恒常」などとも対応 / 新規採用（画数9）
10. etern / 永 / “永遠”を直接示す最も簡素な字。画数も少なく直感的 / 新規採用（画数5）
11. nepr / 必 / “必ず”“不可避”の意を示す基本字。日本語圏にも馴染み深い / 新規採用（画数5）
12. absolut / 绝 / “絶対”を意味する「绝对」の略として「绝」を単字採用。日本語「絶」の簡体字 / 新規採用（画数9）
13. dekstr / 右 / “右側”を直接示す基本字。日中ともに同形 / 新規採用（画数5）
14. just / 正 / “正義”や“公正”を連想しやすい字。日本語の「正義」などにも通じる / 新規採用（画数5）
15. prav / 正 / 「just」と近い“正しい”“正当な”ニュアンスをもつため再利用 / 既出再利用（学習コスト低減）
16. ĝust / 正 / “正確な”という意味合いも「正」に含まれるため再利用 / 既出再利用（学習コスト低減）
17. valid / 效 / “有効”・“効力”を示す字（「有效」「奏效」など）。日本語「効果(効)」にも近い / 新規採用（画数7）
18. ja / 确 / “確かに”“実に”のニュアンス。「确实(確かに)」の略で単字使用 / 新規採用（画数8）
19. ver / 真 / “真実”・“本当”を最も直接に表す字。日中ともに馴染み深い / 新規採用（画数10）
20. aŭtentik / 真 / “真正の”“本物の”意。ver と同義域のため「真」を流用 / 既出再利用（学習コスト低減）
21. fakt / 实 / “事実”や“実際”の「事实」「实际上」などで用いられる“実”の簡体形 / 新規採用（画数8）
22. efektiv / 实 / “現実に”“実際に”を意味するため、fakt と同じ「实」で統一 / 既出再利用（学習コスト低減）
23. real / 实 / “現実の”“実在する”という意味も「実」で表せるので再利用 / 既出再利用（学習コスト低減）
24. virg / 纯 / “純潔な”を表す基本字。「純」の簡体字で日本語圏にも連想しやすい / 新規採用（画数7）

1) pur → 纯

1. エスペラント語根: pur
2. 提案する簡体字: 纯
3. 選定理由:
   * 「纯」は「純」の簡体字で、「純粋」「混じりけのない」ことを表す。
   * 「清潔」「無垢」といったニュアンスにも近い。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * ここでは新出だが、画数が比較的少ない(7画)点も利点。

2) ĉast → 贞

1. エスペラント語根: ĉast
2. 提案する簡体字: 贞
3. 選定理由:
   * 「贞」は「貞」の簡体字で、「貞節」「固く正しいこと」を意味する。
   * 「貞操」「贞洁」など「貞節」「純潔」に関わる含意が強い。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 新出の字だが5画と比較的少なく、意味も分かりやすい。

3) banal → 凡

1. エスペラント語根: banal
2. 提案する簡体字: 凡
3. 選定理由:
   * 「凡」は「平凡」「凡庸」など「ありふれた」「普通の」という意味を表し、banal（陳腐・月並み）に相応。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 画数が3画と非常に少なく学習しやすい。

4) krud → 生

1. エスペラント語根: krud
2. 提案する簡体字: 生
3. 選定理由:
   * 「生」は「生の」「未加工の」「自然のまま」を示す。
   * 「raw / crude / uncooked」という概念に合致。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 既出なし。5画と少なく覚えやすい。

5) sovaĝ → 野

1. エスペラント語根: sovaĝ
2. 提案する簡体字: 野
3. 選定理由:
   * 「野」は「野生」「荒野」の意味を持ち、「wild」「savage」といった語感に近い。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 既出なし。やや画数(11画)は多いが、日本語でも「野生」で馴染みが深い。

6) aplomb → 沉着

1. エスペラント語根: aplomb
2. 提案する熟語: 沉着 (※「沉着」は日本語の「沈着」に相当)
3. 選定理由:
   * 「沉」は「沈む」や「沈着冷静」の「沈着」を表し、「着」も「落ち着いている様子」の含意を持つ。
   * 「沉着(沈着)」は「落ち着き」「泰然自若」「動じない」ニュアンスに近く、aplomb（動じない自信・落ち着き）を表現しやすい。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 2文字熟語のため画数はやや多いが、的確に意味を伝えられる。

7) flegm → 冷

1. エスペラント語根: flegm
2. 提案する簡体字: 冷
3. 選定理由:
   * 「冷」は「冷静」「冷淡」「冷酷」など、感情を抑えた「クールさ」「無関心」の含みがある。
   * flegma：無感動・冷淡・どこか醒めた感じにも通ずる。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 新出だが7画と比較的少なめ。

8) seren → 安

1. エスペラント語根: seren
2. 提案する簡体字: 安
3. 選定理由:
   * 「安」は「安らか」「落ち着き」「穏やかで不安のない状態」を表す。
   * serenity（平穏・落ち着き）に通じる。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 新出。6画で比較的覚えやすい。

9) trankvil → 安

1. エスペラント語根: trankvil
2. 提案する簡体字: 安
3. 選定理由:
   * 「trankvila」は「静かな」「落ち着いた」「平穏な」を意味し、「安」とよく合う。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * すでに seren で使用した「安」を重複利用し、学習コストを削減。

10) kviet → 安

1. エスペラント語根: kviet
2. 提案する簡体字: 安
3. 選定理由:
   * 「kieta」は「静かな」「安らかな」「落ち着いた」であり、「安」と近い。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 同じく「安」の重複割当でコスト低減。

11) komfort → 安

1. エスペラント語根: komfort
2. 提案する簡体字: 安
3. 選定理由:
   * 「安楽」「安心」といった「安」の持つニュアンスが「快適」「心地よい」に近い。
   * 「安逸(àn yì)」「安楽」などにもつながる意味合い。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 引き続き「安」を再利用。

12) pac → 和

1. エスペラント語根: pac
2. 提案する簡体字: 和
3. 選定理由:
   * 「和平」「和睦」など「平和」「調和」の核心を示す字。
   * 日本語でも「平和」「和解」など「和」は馴染み深い。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 新出。8画だが、以降「harmoni」「akord」「konkord」にも再利用予定。

13) moder → 中

1. エスペラント語根: moder
2. 提案する簡体字: 中
3. 選定理由:
   * 「中」は「中庸」「適度」「ほどほど」といったニュアンスを含み、moderate に対応しやすい。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 新出(4画)だが簡単。日本語でも「中庸」「中道」という表現がある。

14) ekvilibr → 平

1. エスペラント語根: ekvilibr
2. 提案する簡体字: 平
3. 選定理由:
   * 「平衡」「平ら」「均等」といった概念につながり、「バランス」を連想しやすい。
   * 実際「平衡」は中国語でも「バランス」を意味する。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 新出(5画)だが、stroke 数は比較的少なく、意味把握もしやすい。

15) kompromis → 妥

1. エスペラント語根: kompromis
2. 提案する簡体字: 妥
3. 選定理由:
   * 「妥協」を表す「妥协」の「妥」で、「落ち着き先を決める」「折り合いをつける」含意。
   * 1文字で「妥」のみでも「安定している」「うまく収まる」のニュアンスがある。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 新出(7画)。やや画数はあるが「和」に比べると「妥協」の意味合いが明確。

16) agord → 调

1. エスペラント語根: agord
2. 提案する簡体字: 调
3. 選定理由:
   * 「调」は「調整」「調律」「調和」など、tuning や setting の意味合いを直接表す。
   * 「調和」と近く「agordi = 調律する・合わせる」に対応しやすい。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 新出(10画)だが、楽器の「調律(调音)」にも繋がり便利な字。

17) harmoni → 和

1. エスペラント語根: harmoni
2. 提案する簡体字: 和
3. 選定理由:
   * 「和」は「調和」「和音」「和やか」などを直感的に示し、harmony と合う。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * すでに pac(平和) で使用。重複利用により学習コストを削減。

18) akord → 和

1. エスペラント語根: akord
2. 提案する簡体字: 和
3. 選定理由:
   * 「accord」「一致」「合致」「和合」を端的に表す。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 同じく「和」を再利用し、学習コストを最小化。

19) konkord → 和

1. エスペラント語根: konkord
2. 提案する簡体字: 和
3. 選定理由:
   * 「concord」「融和」「仲良くする」などに通じ、「和」との親和性が高い。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 既に使用している「和」の重複割当。

20) virt → 德

1. エスペラント語根: virt
2. 提案する簡体字: 德
3. 選定理由:
   * 「德」は「徳」「道徳的美質」を指し、virt（徳）に対応。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 新出(15画)とやや多画だが、「道徳」領域の重要字として設定。

21) konscienc → 良

1. エスペラント語根: konscienc
2. 提案する簡体字: 良
3. 選定理由:
   * 「良心」の「良」に着目。「良」単独で「よい、善い」の意味が強いが、「良心」と結び付けると覚えやすい。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 新出(7画)。比較的画数は少なめ。

22) etiket → 礼

1. エスペラント語根: etiket
2. 提案する簡体字: 礼
3. 選定理由:
   * 「礼」は「礼儀」「礼法」を示し、etiquette の直接的な語源イメージに近い。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 新出(5画)と少なめで、かつ日本語でも「礼儀」の「礼」。

23) moral → 德

1. エスペラント語根: moral
2. 提案する簡体字: 德
3. 選定理由:
   * 「伦理道德」「道徳」を示す際の主要漢字が「德」。
   * 「moral（道徳）」とも整合。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * すでに virt に割り当て済みの「德」を再利用し、学習コストを抑える。

24) etik → 德

1. エスペラント語根: etik
2. 提案する簡体字: 德
3. 選定理由:
   * 「伦理学」は中国語で「伦理」「道德」を含む領域。「德」1文字で倫理全般を背負わせる形。
   * 厳密には「伦(倫理)」もあるが、字数を抑えるため「德」に集約。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * 再度「德」を流用。道徳・倫理を一本化。

25) ĝentil → 礼

1. エスペラント語根: ĝentil
2. 提案する簡体字: 礼
3. 選定理由:
   * 「礼儀正しい」「礼節をわきまえた」ことは「礼」の核心と合致。
4. 既出の偏旁や学習コスト:
   * etiket と同じく「礼」を重複し、学習コストを低減。